

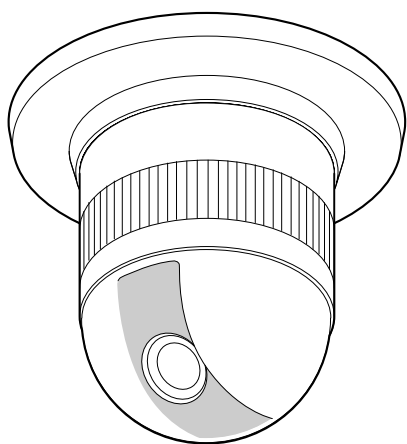
取扱説明書 工事説明付き

カラーテレビカメラ

品番 WV-CS570

もくじ

商品概要／付属品をご確認ください	2
免責について	3
安全上のご注意	4
使用上のお願い	7
各部の名前	9
設置上のお願い	10
DIPスイッチの設定	12
設置のしかた	15
カメラの取り外し	18
接続のしかた	19
RS485設定	20
セットアップメニューについて	22
プリセット設定	24
プリセットポジションの設定	24
ホームポジションの設定	38
セルフリターンの設定	39
オートモードの設定	40
AUTO PAN キー機能の設定	43
デジタルフリップ機能の設定	44
パスワードロック機能の設定	45
特別メニューの設定	47
カメラ交換時のカメラ位置調整	61
カメラ設定	63
カメラ設定メニューを表示する	63
同期方式を設定する	64
カメラの画質を調整する	65
ショートカット操作について	69
故障かな！？	72
仕様	77
保証とアフターサービス	79



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、カラーテレビカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」(4ページ～6ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご使用前に

工事説明

設定のしかた

必要なとき

商品概要

本機は、1/4型CCDを搭載したカラーテレビカメラと22倍ズームレンズ、およびプリセット、水平・垂直回転台を一体化したドーム型の監視カメラです。おもな特長は次のとおりです。

●スーパーダイナミックⅡ機能（SUPER-DⅡ）を採用

照度差の激しい被写体も鮮明に撮影できます。

●新開発DSPにより、高感度を実現

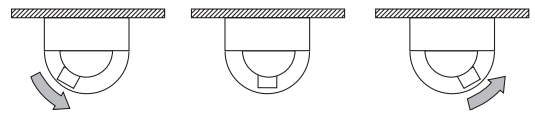
新開発のノイズリダクションを搭載することにより、1 lxを実現しています。

●デジタルフリップ機能搭載

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、デジタルフリップ機能を使用すると垂直方向 0°～180°をワンモーションで回転することができます。この機能により、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。

デジタルフリップ機能の動作

- ①下方向へ。 ②真下付近（135°地点）で映像の上下を瞬時に切り替え。 ③上方向へ。



・・・操作は、システムコントローラーのジョイスティックを下方向に倒しておくだけ。

●プライバシーゾーン機能搭載

撮影する場所（画面）の中に写したくない部分がある場合、その部分だけを写さないようにすることができます。

●パトロール機能搭載

手動で操作した内容を記憶し、再現する機能です。たとえば、監視したい人の流れをあらかじめ予測してカメラ動作を記憶しておき、その内容を再現することにより、複雑な動きを自動で行います。

●カメラポジションを記憶可能

最大32か所、カメラポジションを設定することができます。設定したカメラポジションは、システムコントローラーからプリセット番号をテンキー入力して呼び出すことで、その映像をモニターに表示できます。

●モーションディテクター機能

監視中、モニター画面内に動きが生じた場合、アラーム信号を送出することができます。この機能により、夜間の侵入に反応してVTR録画するといったシステムを構築することができます。

付属品をご確認ください

取扱説明書（本書） 1冊
保証書 1式

以下の付属品は、取り付け工事に使用します。

飾りカバー 1個
接点保護シート 1枚
8Pアラームケーブル 1本
4Pアラームケーブル 1本

免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ① 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害。
 - ② お客様の故意や誤使用、不注意による障害または本商品の損傷など。
 - ③ お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合。
 - ④ 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことで被る不便・損害・被害。
 - ⑤ 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害。
 - ⑥ お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

可燃性雰囲気中で使用しない



爆発し、けがの原因になります。

禁止

分解しない、改造しない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異物を入れない



水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

禁止

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

回転動作中は本体部に手を触れない



回転部に指をはさみ、けがの原因になります。

禁止

- ドームカバーは付けた状態で使用してください。

警告

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない



禁止

取り付け部が劣化して、落下などの事故の原因になります。

振動のないところに設置する



取り付けねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因になります。

落下防止対策を施す



落下によるけがの原因になります。

- 専用の取付金具に安全ワイヤーを必ず取り付けて使用してください。

落とさない、強い衝撃を与えない



禁止

けがや火災の原因になります。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

取り付け場所に合わせた取付金具を使用する



落下によるけがの原因になります。

- 設置の際は、別売りの専用の取付金具を使用してください。

総質量に耐える場所に取り付ける



取り付け場所の強度が不十分だと、落下や転倒などで、けがの原因になります。

- 総質量に耐える材質・構造の所に、水平に取り付けてください。

ねじや固定機構はしっかりと締め付ける



締め付けが緩むと、落下などでけがの原因になります。

定期的に点検する



金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。

- 点検は販売店に依頼してください。

人や物がぶつからない高さに取り付ける



落下などの事故の原因になります。

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

警告

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

アースを確実に取り付ける



本機の電源プラグはアース端子付き2芯プラグです。アースは確実に行ってご使用ください。アースを取り付けないと、故障や漏電のときに、感電するおそれがあります。

- アース工事は販売店にご相談ください。
(アース工事費は本製品の価格には含まれていません)

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

配線は、電源を切ってから行う



感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因になります。

注意

お手入れのときは電源を切る



感電の原因になります。

使用上のお願い

●**本機に電源スイッチはありません**
電源プラグをコンセントに差し込むと電源が入ります。お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

●**使用中、画面に「OVER HEAT」と表示されたときは**
カメラ内部が異常に高温になっています。ただちに電源プラグをコンセントから抜いて販売店へご連絡ください。

●**長時間安定した性能でお使いいただくために**
高温・高湿で長時間連続使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。
(推奨温度+35℃以下)
設置場所の放熱や暖房などの熱が直接当たらないようにしてください。

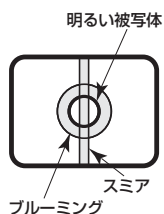
●**ちゅう房など蒸気や油分の多いところでの使用は避けてください**

●**カメラのクリーニングについて**
長期間使用しているとモニターにノイズが入ったり、プリセットポジションがずれてくることがあります。
カメラのクリーニング機能(⇒58ページ)を使用してもこのような状態になるときは、特別設定メニューの「REFRESH」(⇒67ページ)を実行してください。

●**本機は吊り下げ専用です**
据え置きで使用しないでください。故障の原因になります。

●**CCD色フィルターの焼き付きについて**
画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CCD内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。

●**強い光にカメラを向けないでください**
画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング(強い光の周りがにじむ現象)、スミア(強い光の上下に縦縞が発生する現象)を生じることがあります。



●**取り扱いはていねいに**
落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

●**水をかけないでください**
本機の防水性はJIS保護等級で防滴Ⅱレベルです。直接水をかけないでください。

●**ドームカバー内が結露したときは**
ドームカバーを外して(⇒9ページ)、水分を柔らかい布でふき取ってください。

●**消耗品について**
次の部品は消耗品です。寿命時間を目安に交換してください。なお、寿命時間は、使用環境、使用条件により変わります。

- ・レンズ部 : 約370万動作 (約20 000時間)
- ・スリップリング : 約240万動作 (約20 000時間)
- ・冷却ファン : 約50 000時間

●**お手入れは**
電源を切って乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、台所用洗剤(中性)を水で薄め、柔らかい布にしみこませ、固く絞り、軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分をふき取ってください。
ドームカバー、レンズが汚れると、画質劣化の原因となります。レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラの清掃に使うもの)で行ってください。
ドームカバーは特に傷が付きやすいので、柔らかい布で軽くふいてください。

使用上のお願い（つづき）

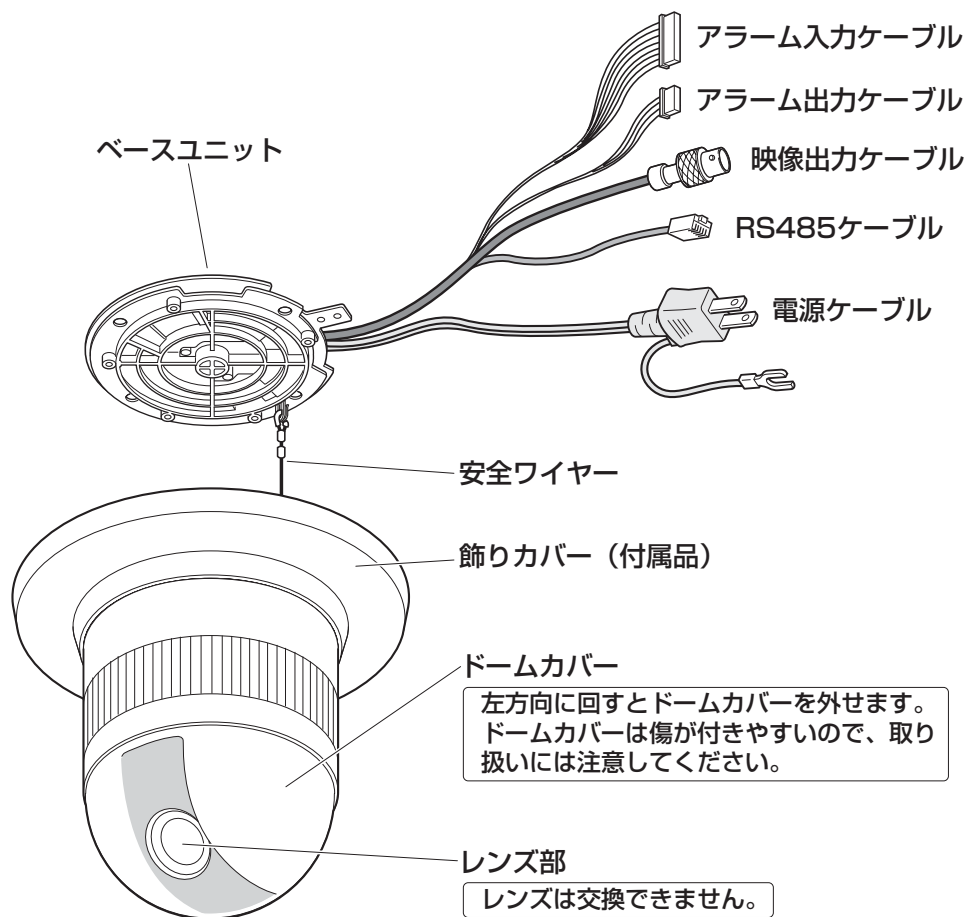
●プリセットデータのダウンロード、アップロードについて

システムコントローラーにカメラのプリセットデータをダウンロードするとき、およびダウンロードしたデータをカメラにアップロードするときは、なるべくカメラを動かさず、動きの少ない方向（壁など）を撮影してください。

●自己診断機能について

ご使用中、外来ノイズなどの影響により異常動作を30秒以上続けると、カメラ自身が自動的にリセット動作を行い正常な動作に復帰します。リセット動作は、電源投入時と同様の初期化動作を行いますが、頻繁に発生する場合は、カメラの設置環境で外来ノイズが多く発生している可能性があります。カメラの故障原因になりますので、早めに販売店にご相談ください。

各部の名前



ご使用前に

常に最良の状態でお使いいただくために

- ・本機は「スリップリング」と呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、パン（水平回転）操作時に画質の劣化やノイズが発生することがあります。

常に最良の状態を保つために、クリーニング機能（⇒58ページ）を「ON」にしてお使いください。

- ・スリップリングのクリーニングを行っても画質の劣化やノイズを解消できないときは、スリップリングの寿命が考えられますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

設置上のお願い

警告

設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面などをよく選んで、設置してください。天井や壁などに取り付けて使用する場合、本体の不良による落下事故以外の、取り付け方法の不備などによる落下事故に対する責任は一切弊社は負いかねますので、取り付け場所や取り付け方法の設計は十分な注意をお願いします。強度が不足の場合は、十分な補強をし、安全を確認して取り付けてください。

●カメラの取り付け場所について

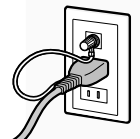
- ・強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
- ・強度が不十分な天井（二重天井など）に取り付ける場合は、別売りのカメラ天井直付金具 WV-Q105、またはカメラ天井埋込金具 WV-Q106 を使用してください。
- ・天井から吊り下げて取り付けの場合は、別売りのカメラ天井吊り下げ金具 WV-Q117 を使用してください。
- ・壁に取り付ける場合は、別売りのカメラ壁取付金具 WV-Q118 を使用してください。

●電源について

- ・アース接続は、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。
- ・電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。
 - (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
 - (2) 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
 - (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用する。

●アース（接地）について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。アース端子付きコンセントを使用される場合は、接地抵抗値（100 Ω以下）をご確認ください。



●本機は屋内用カメラです。屋外での使用はできません。

●本機は吊り下げ専用です。据え置きや傾けた状態で使用すると、正常に動作しなかったり、寿命が短くなる場合があります。

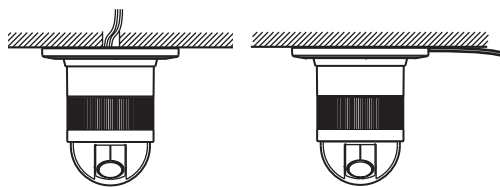
●カメラは水平（ドーム下向き）に取り付けてください。

●次のような場所での設置およびご使用はできません。

- ・雨や水が直接かかる場所（本機の防水性はJIS 保護等級で防滴Ⅱ形です。）
- ・プールなど、薬剤を使用する場所
- ・ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所
- ・放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所
- ・海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- ・使用周囲温度（-10℃～+50℃）を超える場所
- ・車両や船舶などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません。）
- ・エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（ドームカバーが曇ったり、結露する場合があります。）

●ケーブル類（電源、映像出力、RS485、アラーム入力、アラーム出力）の配線について

本機をカメラ駆動ユニット（WV-PS154など）およびテックモニターに接続すると、故障の原因となりますので、絶対に接続しないでください。本機のケーブル類は、天面および側面から引き出して配線することができます。



- ・天面から引き出す場合は、天井に線材を通す穴を開けてください。（⇒16ページ、手順3）
- ・側面から引き出す場合は、カメラ本体のダイカストケースと飾りカバーを加工してください。（⇒15ページ、本機と飾りカバーを加工する）

●ノイズ障害が考えられる場合

AC 100 V以上の電力線（電灯線）と1 m以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行ってください。（金属管は必ず大地アースを行ってください。）

●取付ねじは、別途ご用意ください

本機を取り付けるねじは付属されていません。取り付け場所の材質や構造、総質量を考慮してご用意ください。

重要

- 本機のRS485ケーブルを使用して、システムコントローラーから本機を制御（回転台操作など）する場合、本機を設置する前に、本機のDIPスイッチでユニット番号と通信方式を設定する必要があります。（⇒12ページ）

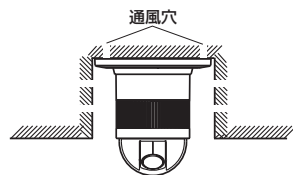
この設定を行わないと、システムコントローラーからの制御が行えず、再設置作業が必要となります。設置前に、必ずご確認ください。

メモ

- 本機には電源スイッチがありませんので、電源プラグをコンセントに差し込むと電源が投入されます。本機は、電源投入時にセルフクリーニング機能（パン・チルト・ズーム・フォーカス動作）が働きます。

●放熱について

本機は、カメラ本体部表面より放熱させています。壁などに囲まれ、熱がこもる場所に設置するときは、通風穴を設けてください。



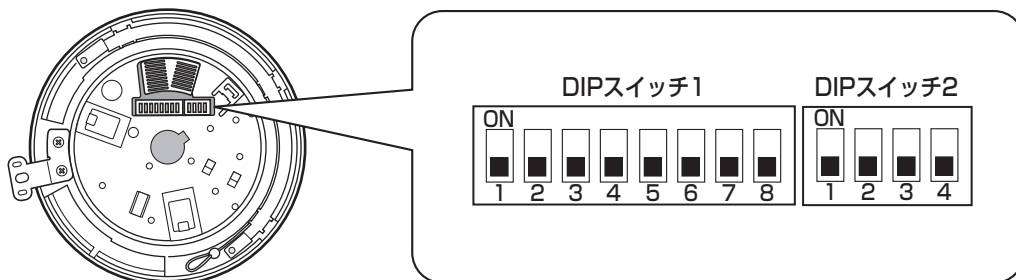
●湿度に注意してください

本機の設置は、湿度の低いときに行ってください。湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿気がたまりドームカバー内が曇ることがあります。曇ったときは湿度の低いときにドームカバーを外し、内部の湿気を出してから設置してください。（⇒7、9ページ）

DIPスイッチの設定

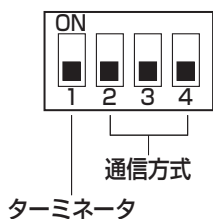
本機のRS485ケーブルを使用して、システムコントローラーから本機を制御（回転台操作など）する場合は、本機のDIPスイッチでユニット番号と通信方式を設定する必要があります。

DIPスイッチは、ベースユニットを取り外したところにあります。ベースユニットの取り外しかたは、15ページの手順1,2をご覧ください。



通信方式（DIPスイッチ2）の設定

工場出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。



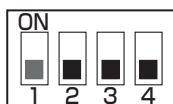
1番：ターミネータ（内部終端抵抗）

以下の場合、「ON」に設定してご使用ください。

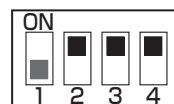
- ・1台のみ接続する場合。
- ・デジチェーン接続する場合、配線長が最も長い1台のみ。

2～4番：通信方式

2線式通信と4線式通信の切替設定です。使用する通信方式に設定します。




























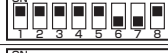





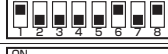



































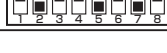
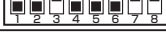
4線式通信の場合







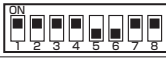
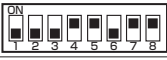


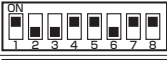



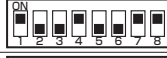

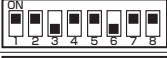



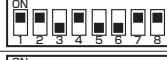
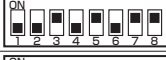



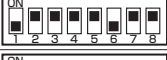
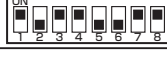
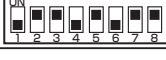
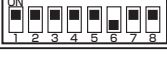
2線式通信の場合

ユニット番号 (DIPスイッチ1) の設定

工場出荷時は、すべて「OFF」に設定されています。(同軸多重通信)

DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号
	1~96 ※		23		46
	1		24		47
	2		25		48
	3		26		49
	4		27		50
	5		28		51
	6		29		52
	7		30		53
	8		31		54
	9		32		55
	10		33		56
	11		34		57
	12		35		58
	13		36		59
	14		37		60
	15		38		61
	16		39		62
	17		40		63
	18		41		64
	19		42		65
	20		43		66
	21		44		67
	22		45		68

DIPスイッチの設定 (つづき)

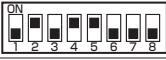
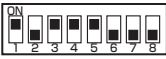
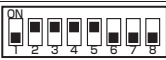
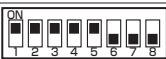
DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号	DIPスイッチ1	ユニット番号
	69		78		87
	70		79		88
	71		80		89
	72		81		90
	73		82		91
	74		83		92
	75		84		93
	76		85		94
	77		86		95

※ユニット番号「1～96」に設定した場合は、RS485設定メニューでユニット番号を設定する必要があります。設定方法は、20ページの手順2をご覧ください。

※この設定で電源を入れると、初期化動作中にRS485設定メニューが表示されます。

RS485通信条件 (DIPスイッチ1) の設定

DIPスイッチ1を次のように設定すると、通信条件を工場出荷時の設定に戻したり、設定内容を変更することができます。

DIPスイッチ1	設定内容
	通信条件を工場出荷時の設定に戻す。
	BAUD RATE : 19 200 bit/s, DATA BIT : 8 bit, PARITY CHECK : NONE, STOP BIT : 1 bit
	BAUD RATE : 9 600 bit/s, DATA BIT : 8 bit, PARITY CHECK : NONE, STOP BIT : 1 bit
	BAUD RATE : 4 800 bit/s, DATA BIT : 8 bit, PARITY CHECK : NONE, STOP BIT : 1 bit

この設定を使用するときは、次の手順で行ってください。

- ① 本機の電源を切り、DIPスイッチ1でRS485通信条件 (上表) を設定します。
- ② 本機の電源を入れます。
手順①で設定した内容が反映されます。
- ③ 本機の電源を切り、DIPスイッチ1でユニット番号 (⇒13～14ページ) を設定し、再度電源を入れます。

設置のしかた

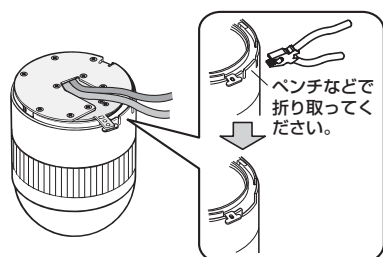
本機と飾りカバーを加工する（線材を側面から引き出す場合）

本機のケーブル類（電源、映像出力、RS485、アラーム入力、アラーム出力）を側面から引き出して、天井または壁面に配線する場合は、カメラ本体と飾りカバーを次のように加工してください。

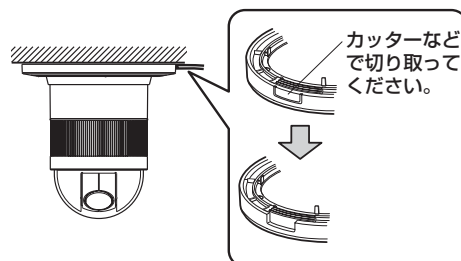
カメラ本体を加工するには、ベースユニットを取り外す必要があります。ベースユニットの取り外しかたは、下記「カメラを取り付ける」の手順1,2をご覧ください。

【カメラ本体ダイカストケースの加工】

※作業時は、やわらかい布などを敷き、ドームカバー部に傷などが付かないよう保護してください。

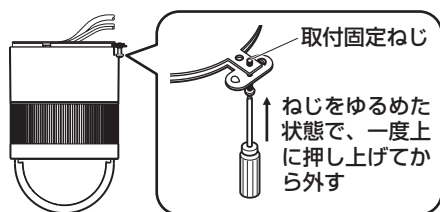


【飾りカバーの加工】



カメラを取り付ける

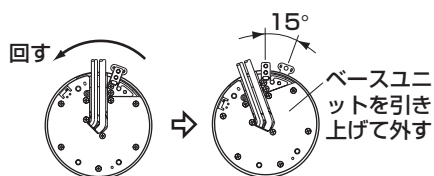
- ・取り付け場所は、カメラの総質量に耐えられる場所にしてください。強度が不十分ですと、落下によるけがの原因となります。
- ・別売りの取付金具にカメラを取り付ける場合は、使用する取付金具の取扱説明書をご覧ください。



- 1 カメラ本体とベースユニットを固定している取付固定ねじ（M3×6）を外します

メモ

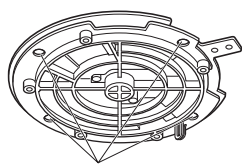
- ・取付固定ねじは、紛失しないように注意してください。



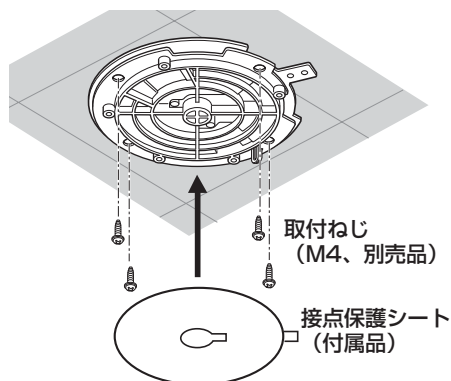
- 2 ベースユニットを矢印の方向に回して取り外します

(⇒次ページへ続く)

設置のしかた (つづき)



マーキングする

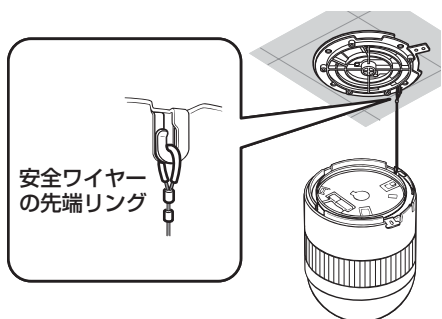


3 ベースユニットを型紙代わりに利用して、取付ねじ用の穴位置（4か所）をマーキングします
ケーブル類を天面から配線する場合は、線材を通す穴位置を決めて天井に穴を開けてください。

4 ベースユニットを天井に取り付けます
取付ねじ（M4）は、取り付け場所に合わせてご用意ください。
すぐにカメラを取り付けないときは、ほこりの付着を防止する接点保護シート（付属品）をはり付けてください。

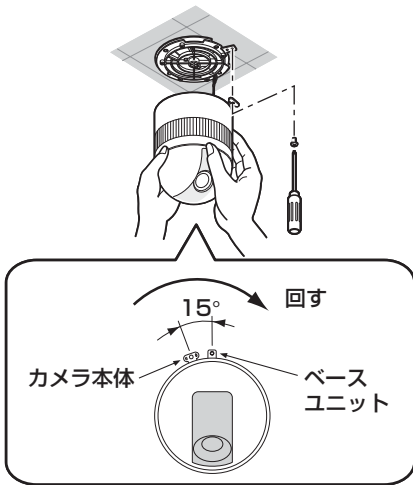
5 カメラ本体に固定されている安全ワイヤーをベースユニットに取り付けます

安全ワイヤーを引いてみて、安全ワイヤーの先端リングが確実にベースユニットのフックにかかっていることを確認してください。
接点保護シート（付属品）がはり付けてあるときは、先にはがしてください。

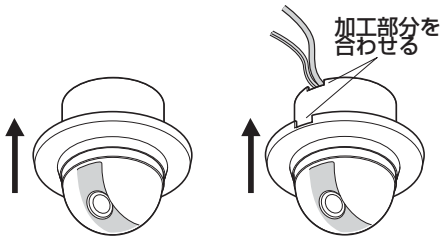


お願い

- 安全ワイヤーはカメラ本体を吊り下げることが想定し設計されていますので、それ以外の負荷を加えないでください。



〔天面から引き出す場合〕〔側面から引き出す場合〕



6 カメラ本体をベースユニットに取り付けます
ベースユニットにカメラ本体を合わせて奥まで差し込み、矢印の方向に回します。

7 手順1で外した取付固定ねじで、カメラ本体とベースユニットを固定します

8 取り付けの確認をします

- ・傾きがなく、きちんと取り付いていること。
- ・ぐらつかないこと。
- ・本体固定部を回してみても回らないこと。

9 飾りカバーを持ち上げます

- ・線材を天面から引き出すときは、飾りカバーをそのまま上に持ち上げて、天井面に強く押しつけてください。
- ・線材を側面から引き出すときは、飾りカバーの加工部分が線材の位置に合うように持ち上げて、天井面に強く押しつけてください。

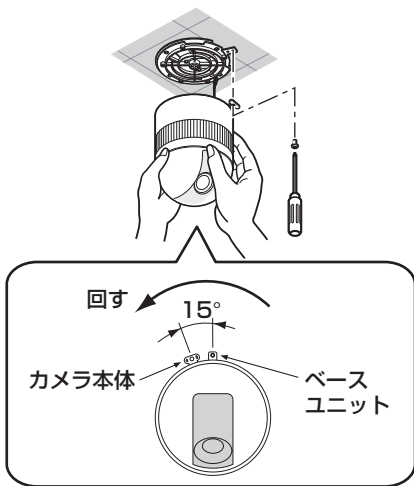
カメラの取り外し

重要

- 本機を取り外す場合は、下記の手順を必ずお守りください。破損の原因となります。

カメラ本体を取り外す

本機はカメラ本体とベースユニットをねじで固定しています。この固定部は二重の固定構造になっているため、カメラ本体を取り外す場合は以下の手順を行ってください。



- 1 カメラ本体とベースユニットを固定している取付固定ねじ (M3×6) を外します

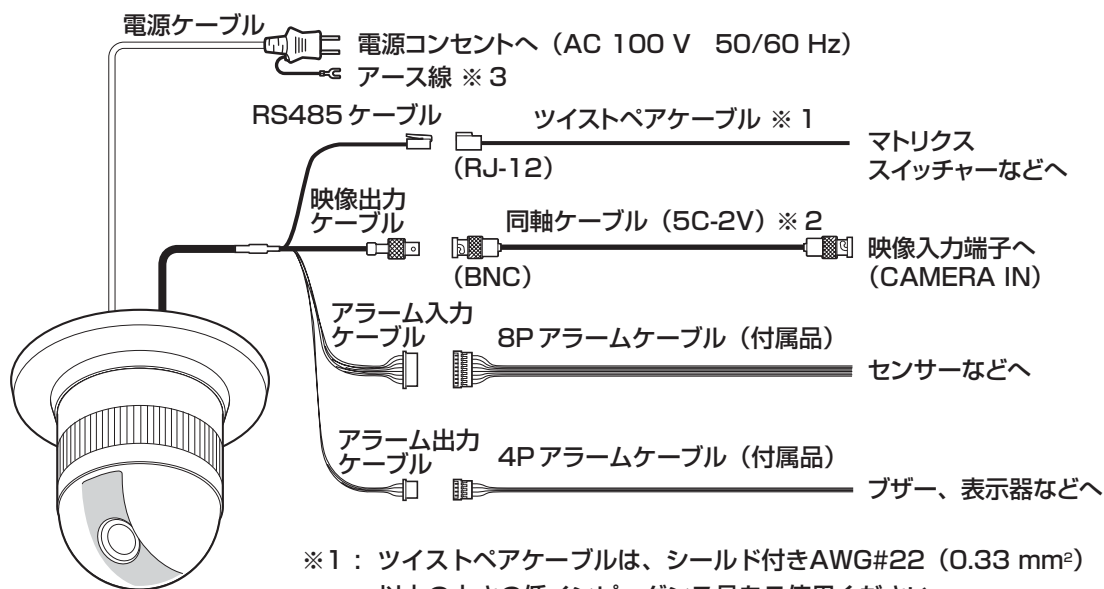
メモ

- 取付固定ねじは、紛失しないように注意してください。

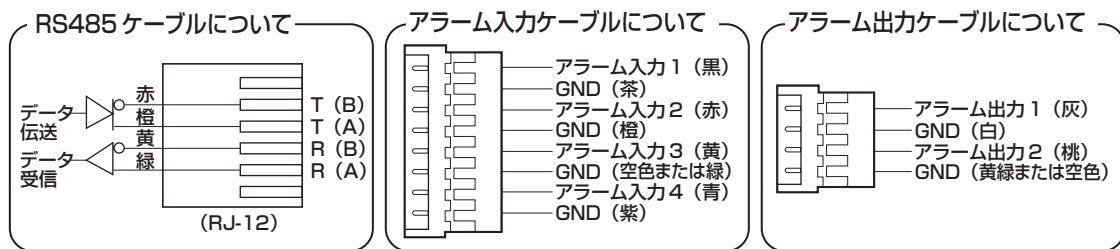
- 2 カメラ本体をベースユニットから取り外します
カメラ本体を矢印の方向に回して取り外してください。

- 3 安全ワイヤーをベースユニットから取り外します

接続のしかた



- ※1 : ツイストペアケーブルは、シールド付きAWG#22 (0.33 mm²)以上の太さの低インピーダンス品をご使用ください。
- ※2 : 同軸ケーブルの全長は、1 200 m以下 (5C-2V時) にしてください。
- ※3 : アース線は必ずアースに接地してください。



<アラーム入出力の定格>

アラーム入力: 5 V DCプルアップ入力。0.2 mA以上のドライブ能力が必要です。

OFF : 4 V DC以上、5 V DC以下またはオープン

ON : 1 V DC以下またはショート

アラーム出力: オープンコレクタ出力。ドライブ能力16 V DC、100 mA以下。

OFF : オープン

ON : 100 mA以下

※外部機器接続時は、定格を超えないように設置してください。

メモ

- 電源投入後、30 秒以内に電源の入/切を繰り返すと、パン・チルト・ズーム・フォーカスの位置がずれることがあります。

RS485設定

本機のRS485ケーブルを使用して、システムコントローラーから本機を制御（回転台操作など）する場合の環境設定を行います。

- 1 セットアップメニューを表示し（⇒22ページ）、カーソルを「RS485 SET UP」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

RS485設定メニューが表示されます。

- 2 ユニット番号を確認します（⇒13ページ）

* RS485 SET UP *	
UNIT NUMBER	1
SUB ADDRESS	----
BAUD RATE	19200
DATA BIT	8
PARITY CHECK	NONE
STOP BIT	1
XON/XOFF	NOT USE
WAIT TIME	OFF
ALARM DATA	AUTO2
DELAY TIME	OFF
RET	

DIPスイッチ1で設定したユニット番号が「UNIT NUMBER」の項目に表示されます。工場出荷時の設定は「1」です。

DIPスイッチ1の設定でユニット番号「1～96」を選択した場合は、「UNIT NUMBER」の項目にカーソルを合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ユニット番号（1～96）を設定します。

メモ

- RS485設定メニューの「SUB ADDRESS」は設定不要です。

- 3 カーソルを「BAUD RATE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ボーレートを設定します

ボーレート（転送速度）の表示は、次のように切り替わります。（単位：bit/s）
工場出荷時の設定は「19200」です。

2400 ↔ 4800 ↔ 9600 ↔ 19200

- 4 カーソルを「DATA BIT」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、データビット（7または8）を設定します

工場出荷時の設定は「8」です。

- 5 カーソルを「PARITY CHECK」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、パリティビット（NONE/ODD/EVEN）を設定します

工場出荷時の設定は「NONE」です。

6 カースルを「STOP BIT」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、ストップビット（1または2）を設定します

工場出荷時の設定は「1」です。

7 カースルを「XON/XOFF」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、XON/XOFF機能を設定します

工場出荷時の設定は「NOT USE」です。

NOT USE : XON/XOFFのコードによるデータフロー制御をしません。

USE : XON/XOFFのコードによるデータフロー制御をします。

8 カースルを「WAIT TIME」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、再送時間を設定します

再送時間とは、送信したデータの受信確認（ACK）が無かったときに、再度データを送るまでの時間をいいます。再送時間の表示は次のように切り替わります。（単位：ms）

工場出荷時の設定は「OFF」です。

OFF ↔ 100MS ↔ 200MS ↔ 400MS ↔ 1000MS

9 カースルを「ALARM DATA」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、アラームデータの送信方法を設定します

POLLING : システムコントローラーからの要求により送信します。

AUTO1 : アラーム信号が入力されたときに送信します。

AUTO2 : 2回目以降は5 秒間隔以上で送信します。工場出荷時の設定です。

メモ

- プリセットアラーム（⇒59ページ）を使用する場合は、「AUTO1」に設定してください。

10 カースルを「DELAY TIME」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、遅延時間を設定します

遅延時間とは、受信確認（ACK）を送信するまでの時間をいいます。遅延時間の表示は、次のように切り替わります。（単位：ms）

工場出荷時の設定は「OFF」です。

OFF ↔ 100MS

この設定は、DIPスイッチ2の設定で「2線式通信」を選択している場合のみ行えます。（⇒12ページ）

セットアップメニューについて

操作の詳細説明は、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

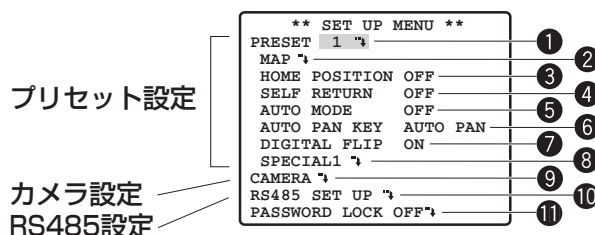
本書では、WV-CU650を使用する場合の操作方法を記載しています。

すべての設定操作は「セットアップメニュー」を表示したところから始まります。ここではセットアップメニューの表示方法と設定項目について説明します。

セットアップメニューの表示方法

●WV-CU650を使用する場合

- ① 設定するカメラ（本機）と、セットアップメニューを表示するモニターを選択する
- ② メニューボタンを押して、「LCD MENU CAM101」を表示する
- ③ ENTERボタンまたはカメラ（セット）ボタンを押して、「Camera Setup」を表示する
- ④ F1ボタンを押す



① PRESET (プリセット)

プリセット番号を直接指定して、撮影場所やレンズのズーム・フォーカス位置などをプリセット設定メニューで設定します。(⇒24ページ)

プリセット番号を指定するとプリセット設定メニューが表示されます。

② MAP (マップ)

プリセット番号を選択するポジション選択メニューを表示します。ポジション選択メニューでプリセット番号を選択してから、撮影場所やレンズのズーム・フォーカス位置などをプリセット設定メニューで設定します。(⇒24ページ)

③ HOME POSITION (ホームポジション)

手動での操作終了後、一定時間を経過したときに自動的に戻る撮影場所（ホームポジション）を設定します(⇒38ページ)。

④ SELF RETURN (セルフリターン)

手動操作終了後、ホームポジションに戻るまでの時間を設定します。(⇒39ページ)

AUTO MODE⑤が設定されている場合は、手動操作終了後にオートモードへ自動復帰するまでの時間設定となります。さらに、自動復帰する動作モードを詳細に設定できます。

⑤ AUTO MODE (オートモード)

カメラの動作モードを設定します。(⇒40ページ)

- ⑥ **AUTO PAN KEY (オートパンキー)**
コントローラーのAUTO PANボタンを押したときの動作を設定します。(⇒43ページ)
- ⑦ **DIGITAL FLIP (デジタルフリップ)**
デジタルフリップ機能のON/OFFを設定します。(⇒44ページ)
デジタルフリップ機能を使用すると、垂直方向0° ~180° をワンモーションで回転させることができ、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。
- ⑧ **SPECIAL1 (特別メニュー)**
プライバシーゾーンやパトロール機能など、特別な機能を設定する特別メニューを表示します。(⇒47ページ)
- ⑨ **CAMERA**
カメラ映像系の動作設定を行うカメラ設定メニューを表示します。(⇒63~68ページ)
- ⑩ **RS485 SET UP**
本機のRS485ケーブルを使用して、システムコントローラーから本機を制御する場合の環境設定を行うRS485設定メニューを表示します。(⇒20~21ページ)
DIPスイッチ1 (⇒13ページ) を設定したときのみ、このメニューが表示されます。
- ⑪ **PASSWORD LOCK (パスワードロック)**
ONに設定しているとき、設定の変更を禁止します。(⇒45~46ページ)

プリセット設定

プリセットポジションの設定 [PRESET]

プリセット番号を設定し、プリセット番号ごとに撮影場所・撮影条件を設定します。
本機のプリセット番号1~4は、アラーム入力 (⇒56~57ページ) と連動します。

●プリセット番号を設定し、プリセット設定メニューを表示する

設定には、次の2種類の操作方法があります。

(1) プリセット番号を直接指定する場合 [PRESET]

```
** SET UP MENU **
PRESET 1 ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
AUTO PAN KEY AUTO PAN
DIGITAL FLIP ON
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
PASSWORD LOCK OFF ↵
```

1 カーソルをPRESETの設定項目「1 ↵」に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、設定したいプリセット番号(1~32)に切り替えます

2 カメラ (セット) ボタンを押します
プリセット番号が設定され、プリセット設定メニューが表示されます。(⇒25~38ページ)

(2) ポジション選択メニューからプリセット番号を選択する場合 [MAP]

```
** SET UP MENU **
PRESET 1 ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
AUTO PAN KEY AUTO PAN
DIGITAL FLIP ON
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
PASSWORD LOCK OFF ↵
```

1 カーソルを「MAP ↵」に合わせ、カメラ (セット) ボタンを押します
ポジション選択メニューが表示されます。

2 設定したいプリセット番号にカーソルを合わせ、カメラ (セット) ボタンを押します
プリセット番号が設定され、プリセット設定メニューが表示されます。(⇒25~38ページ)

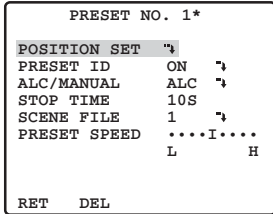
```
** PRESET NUMBER SET **
1* 2 3 4
5 6 7 8
9 10 11 12
13 14 15 16
17 18 19 20
21 22 23 24
25 26 27 28
29 30 31 32
ID:DOOR
RET
```

メモ

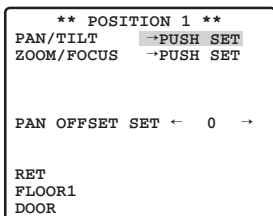
- プリセット番号右側の「*」印は、プリセットが設定されていることを示します。
ホームポジションに設定されている場合は、* 印の横に「H」印が表示されます。
- プリセットIDが登録されているプリセット番号にカーソルを合わせると、「ID:」欄にプリセットIDが表示されます。

●撮影場所を設定する [POSITION SET]

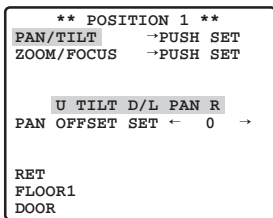
カメラの向き（水平・垂直位置）、レンズのズーム・フォーカスを設定します。



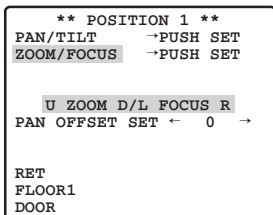
プリセット設定メニュー



ポジション設定メニュー

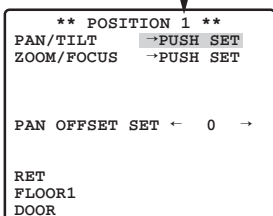


PAN/TILT設定メニュー



ZOOM/FOCUS設定メニュー

ここに合わせる



1 カーソルを「POSITION SET」に合わせてカメラ（セット）ボタンを押します

ポジション設定メニューが表示されます。

2 PAN/TILT右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押します

PAN/TILT設定メニューが表示されます。

3 ジョイスティックを上下左右に動かしてカメラの向き（水平・垂直位置）を設定し、カメラ（セット）ボタンを押します

カメラの向きが決定し、ポジション設定メニューに戻ります。

4 ZOOM/FOCUS右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押します

ZOOM/FOCUS設定メニューが表示されます。

5 ジョイスティックを上下左右に動かしてズーム・フォーカスを調整し、カメラ（セット）ボタンを押します

レンズのズーム・フォーカス調整が完了し、ポジション設定メニューに戻ります。

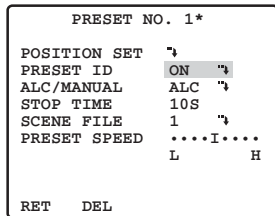
メモ

- 水平に近い角度で使用する場合、ドームカバーの成形ひずみによりフォーカス調整があまくなることがありますのでご注意ください。
- ポジション設定メニュー上部のプリセット番号にカーソルを合わせ、ジョイスティックを左または右に動かすとプリセット番号を選択できます。ここでカメラ（セット）ボタンを押すと、選択したプリセット番号の撮影場所を設定することができます。
- カメラ交換によるプリセットデータアップロード時のカメラ位置調整（PAN OFFSET SET）については、61ページをご覧ください。
- カメラID、プリセットIDが登録されているとポジション設定メニュー下部にカメラID、プリセットIDが表示されます。

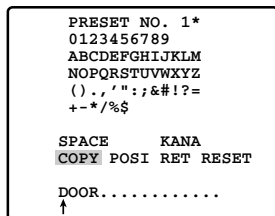
プリセット設定 (つづき)

●プリセットIDを設定する [PRESET ID]

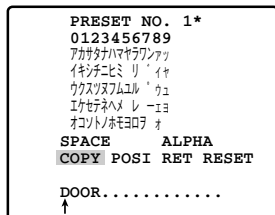
プリセットIDとは、カメラが撮影する場所を英数記号およびカタカナで表したもので、モニター画面上に表示することができます。



プリセット設定メニュー



プリセットID設定メニュー



プリセットID設定メニュー

1 カーソルを「PRESET ID」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON : プリセットIDを画面に表示します。

OFF : 表示しません。

2 「ON」を選択したときはカメラ（セット）ボタンを押します
プリセットID設定メニューが表示されます。

3 ジョイスティックを動かして入力したい文字の上にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

入力した文字が記号作成領域に表示されます。この操作をくり返し、プリセットIDを作成します。（例：DOOR）

【空白スペースを入力したいときは】

「SPACE」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します。

【カタカナを入力したいときは】

「KANA」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します。プリセットID設定メニューのアルファベット部分がカタカナ表示に変わります。

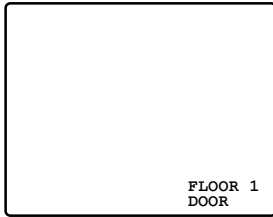
「ALPHA」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押すと、アルファベット表示に戻ります。

【他のプリセット番号で設定したIDをコピーするときは】

「COPY」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します。ひとつ前のプリセット番号で設定したプリセットIDが表示されます。続けてカメラ（セット）ボタンを押すと、もうひとつ前のプリセット番号で設定したプリセットIDが表示されず。

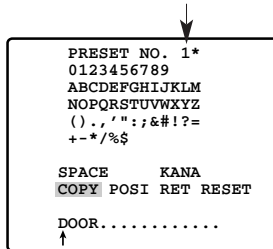
メモ

- プリセット番号1のメニューで上記操作を行うと、プリセット番号32のIDがコピーされます。



表示位置設定メニュー

ここに合わせる



【入力した文字を消去するときは】

「RESET」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します。

【入力した文字を修正するときは】

ジョイスティックを動かして記号作成領域にカーソルを移動します。次にジョイスティックを左または右に動かして修正したい文字に「↑」を合わせ、文字を入力し直します。

4 カーソルを「POSI」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します

表示位置設定メニューが表示されます。

5 ジョイスティックを動かしてプリセットIDの表示位置を設定し、モニター（ESC）ボタンを押します

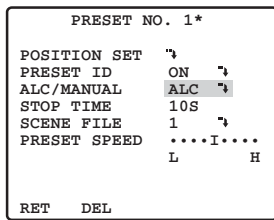
プリセットIDの表示位置が決定し、プリセットID設定メニューに戻ります。

メモ

- プリセットID設定メニュー上のプリセット番号にカーソルを合わせ、ジョイスティックを左または右に動かしてプリセット番号を変更すると、続けて別のプリセットID設定が行えます。

プリセット設定 (つづき)

●レンズの絞り方法を設定する [ALC/MANUAL]



プリセット設定メニュー

1 カursorを「ALC/MANUAL」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ALC/MANUALを切り替えます

ALC : 被写体の明るさに応じて、自動でレンズの絞りを調整します。SUPER-D II 機能を使用するときはこの設定にします。

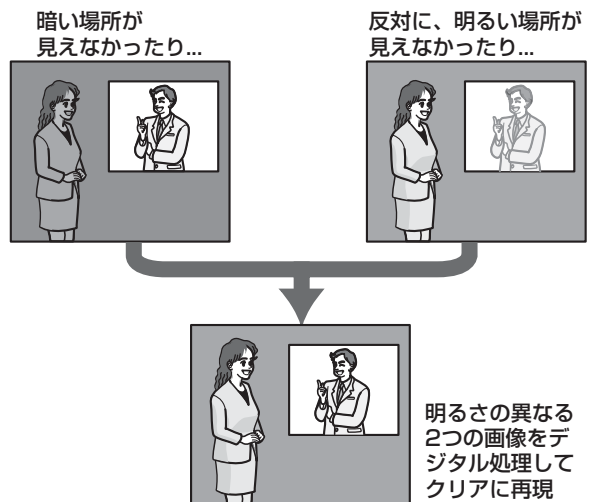
MANUAL: 設定値にレンズの絞りを固定します。

2 カメラ (セット) ボタンを押します
SUPER-D II 設定メニューまたはマニュアル設定メニューが表示されます。(⇒29ページ)

SUPER-D II (スーパーダイナミック II) 機能について

撮影する場所の明るい部分と暗い部分の差が大きいと、カメラは明るい部分に合わせてレンズの絞りを設定してしまうため、暗い部分が見えなくなってしまう。逆に、暗い部分にレンズの絞りを合わせると明るい部分が見えなくなってしまう。

この明暗差の大きな被写体の明るい部分がよく見える映像と、暗い部分がよく見える映像をデジタル処理で合成し、明るい部分も暗い部分も忠実に再現する機能を「SUPER-D II」機能といいます。

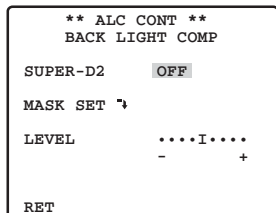


メモ

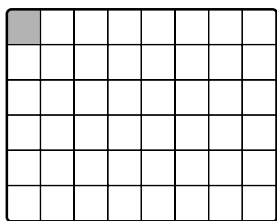
- SUPER-D II 機能は、上記の設定を「ALC」に設定したときのみ使用できます。
- SUPER-D II 機能をONに設定すると、カメラ設定の下記項目が制限されます。
SHUTTER : OFF、AUTO、1/100のみ切替可能 (⇒31ページ)
SENS UP : AUTOのみ切替可能 (⇒32ページ)
- 照明の条件によって次のような現象が見られるときは、SUPER-D II 機能を「OFF」でご使用ください。
 - ① 画面のちらつきや色の変化が生じる場合
 - ② 画面上の明るい部分にノイズが生じる場合

(1) ALCに設定した場合

SUPER-D II（スーパーダイナミック II）の設定を行います。



SUPER-D II設定メニュー



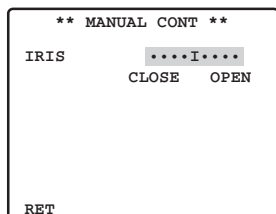
マスク設定画面

- 1 「SUPER-D2」の項目にカーソルを合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます
ON：常にSUPER-D II機能を働かせます。(⇒手順4へ)
OFF：SUPER-D II機能を停止します。(⇒手順2へ)
- 2 「MASK SET」にカーソルを合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します
マスク設定画面が表示され、左上の区画が点滅します。
- 3 背景の明るい部分の区画にマスクを設定し、その部分の明るさを認識しないようにします
操作方法は次のとおりです。
 - ① ジョイスティックを左または右に動かし、点滅表示をマスク設定したい区画に合わせます。
 - ② カメラ（セット）ボタンを押し、マスクを設定します。マスクが設定されている区画に点滅表示を合わせると、横縞と白の交互表示になります。この状態でカメラ（セット）ボタンを押すと、設定されていたマスクが解除されます。
 - ③ マスクを設定したらモニター（ESC）ボタンを押して、SUPER-D II設定メニューに戻ります。
- 4 「LEVEL」の項目にカーソルを合わせてジョイスティックを左または右に動かし、映像出力レベル（映像のコントラスト）を調整します
手順1で「ON」に設定した場合、レベルを少し上げ気味にすると、より効果が得られます。ただし、レベルを上げすぎると、残像やノイズが多くなる場合があります。

メモ

- メニューを閉じて、運用中にシステムコントローラーのアイリス（開、閉）ボタンを操作した場合、この設定に反映されて記憶されます。ただし、カメラがプリセットポジションにある場合は、プリセットポジションの撮影条件として反映されます。工場出荷時のレベルに戻すには、システムコントローラーからアイリスリセットを実行します。

(2) MANUALに設定した場合



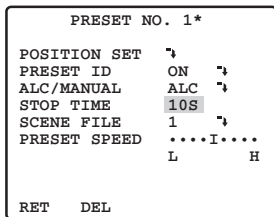
マニュアル設定メニュー

- 1 ジョイスティックを左または右に動かし、レンズの絞りを調整します

プリセット設定 (つづき)

●シーケンス動作時の停止時間を設定する [STOP TIME]

セットアップメニューのオートモード (AUTO MODE) を「SEQ」に設定すると、設定されているプリセットポジションを、小さいプリセット番号から順番に切り替えて映し出します。ここでは、プリセットポジションを映し出す時間 (カメラの回転が停止している時間) を設定します。



プリセット設定メニュー

- 1 カーソルを「STOP TIME」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、停止時間を設定します
停止時間の表示は、次のように切り替わります。(単位：秒、分)

2S↔3S↔5S↔10S↔30S↔1MIN↔2MIN↔3MIN↔4MIN

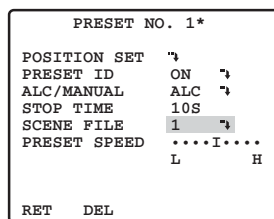
●シーンファイルの選択と設定方法 [SCENE FILE]

撮影場所 (シーン) に合わせたカメラ設定をシーンファイルといい、10種類まで記憶することができます。記憶したシーンファイルは1~10の番号 (シーンファイル番号) で管理され、プリセットポジション設定時に選択することができます。

ここでは、シーンファイルの選択方法と設定方法について説明します。

(1) シーンファイルを選択する

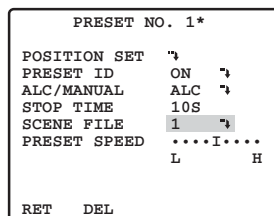
記憶されているシーンファイルを現在設定しているプリセットポジションで使用する場合の設定です。



プリセット設定メニュー

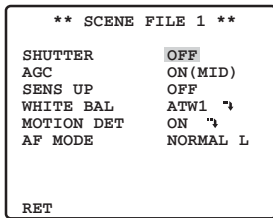
- 1 カーソルを「SCENE FILE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、使用するシーンファイル番号 (1~10) を選択します
シーンファイルを使用しないときは、「OFF」を選択してください。

(2) シーンファイルを設定する



プリセット設定メニュー

- 1 カーソルを「SCENE FILE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、シーンファイル番号 (1~10) を設定します
- 2 カメラ (セット) ボタンを押します
シーンファイル設定メニューが表示されます。



シーンファイル設定メニュー

3 カーソルを「SHUTTER」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、シャッター速度を設定します

シャッター速度の設定項目の表示は、次のように切り替わります。(単位：秒)

[SUPER-D II 機能の設定がOFFの場合]

OFF ↔ AUTO ↔ 1/100 ↔ 1/250 ↔ 1/500 ↔ 1/1000 ↔ 1/2000 ↔ 1/4000 ↔ 1/10000

[SUPER-D II 機能の設定がONの場合]

OFF ↔ AUTO ↔ 1/100

AUTO：屋外など明るい被写体を写した時、よりクリアな撮影が可能です。

OFF：1/60秒固定です。

メモ

- AUTO 設定時、蛍光灯等の下では、フリッカが発生する可能性があります。その際は、OFFにして使用してください。
- レンズの絞り方法が「MANUAL」、電子感度アップ設定が「FIX」の場合、AUTOの機能は働きません。

4 カーソルを「AGC」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ゲインの調整方法を設定します

ON (LOW)：ゲイン調整を自動で行い撮影します。(ゲイン 小)

ON (MID)：ゲイン調整を自動で行い撮影します。(ゲイン 中)

ON (HIGH)：ゲイン調整を自動で行い撮影します。(ゲイン 大)

OFF：ゲインを常に固定した状態で撮影します。

メモ

- AGCを「ON」にすると、低照度で自動的にノイズリダクション機能が働きノイズが低減されます。ただし、動きのある被写体やPAN/TILT操作によって残像が発生することがあります。詳しくは、DNRの設定(⇒66ページ)を参照してください。

(⇒次ページへつづく)

プリセット設定 (つづき)

5 カーソルを「SENS UP」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、電子感度アップを設定します

電子感度アップは、シャッター速度が「OFF」、「AUTO」、「1/100」のときのみ設定できます。設定項目の表示は、次のように切り替わります。

[SUPER-D II機能の設定がOFFの場合]

OFF↔X2 AUTO↔X4 AUTO↔X6 AUTO↔X10 AUTO↔X16 AUTO↔X32 AUTO
↑↔X32 FIX↔X16 FIX↔X10 FIX↔X6 FIX↔X4 FIX↔X2 FIX↔OFF←↑

[SUPER-D II機能の設定がONの場合]

OFF↔X2 AUTO↔X4 AUTO↔X6 AUTO↔X10 AUTO↔X16 AUTO↔X32 AUTO
↑↔↑

メモ

- AUTOとFIXには次のような違いがあります。
AUTO： 例えばX32 AUTOであれば、32倍までの間で自動的に感度を上げます。
FIX： 例えばX32 FIXであれば、32倍に感度を上げます。
シャッター速度が「1/100」のときは、FIXには設定できません。
- SENS UPが設定されると、映像内にノイズや白い点（傷）が見えることがあります。

6 カーソルを「WHITE BAL」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ホワイトバランスの調整方法（ATW1/ATW2/AWC）を設定します

①ATW1：自動色温度追尾モード

カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調整します。
動作範囲は約2 700 K～6 000 Kです。

以下の条件に該当する場合、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は、「AWC」に変更してください。

- 被写体の大部分が濃い色
- 光源が、抜けるような青空や夕暮れ時の太陽
- 被写体を照らす照度が暗い

②ATW2：ナトリウム灯自動色温度追尾モード

ナトリウム灯下で最適なホワイトバランスに自動調整します。

③AWC：自動ホワイトバランスコントロールモード

動作範囲は約2 300 Kから10 000 Kです。光源が変化しない場所での撮影に適しています。

- (a) 「AWC」を選択した場合は、ジョイスティックを左に動かし、「AWC→PUSH SET」に切り替えます。
- (b) カメラ（セット）ボタンを押し、ホワイトバランスを調整します。ホワイトバランスの調整中は、「PUSH SET」が反転表示になります。
- 「PUSH SET」の反転表示が元に戻ったらホワイトバランスの調整は終了です。ジョイスティックを右に動かし、表示を「AWC」にします。
 - ホワイトバランスを完全に調整できない場合、「PUSH SET」は反転表示のままとなります。動作範囲外または照度が少なすぎないか確認してください。

メモ

- ホワイトバランスは画面上の色温度を自動的に検出して調整していますが、画面上に明るすぎる光源などがあると、正常に調整できない場合があります。
-

7 カーソルを「MOTION DET」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、モーションディテクター機能を設定します

ON：モーションディテクター機能を使用します。

「ON」を選択してカメラ（セット）ボタンを押すと、モーションディテクター設定メニューが表示され、詳細設定が行えます。（⇒35ページ）

OFF：モーションディテクター機能を使用しません。

モーションディテクター機能について

1画面を48ブロックに分割してブロックごとに輝度の変化を認識することで、撮影場所の映像に変化（動き）が生じたときにアラーム信号を送出する機能です。

オートモードで動作しているときに映像の変化（動き）を検出すると、アラーム信号を送出するとともに検出したプリセットポジションに設定した時間カメラを停止させることができます。

（⇒次ページへつづく）

プリセット設定（つづき）

8 カーソルを「AF MODE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、オートフォーカスの動作モードを設定します

NORMAL S,M,L:システムコントローラーのオートフォーカススイッチを押したときに、オートフォーカスが働きます。

AUTO S,M,L : 手動によるPAN、TILT、ZOOM操作時は、自動的にオートフォーカスが働きます。
「NORMAL」と同様にシステムコントローラーのオートフォーカススイッチで動作させることもできます。

S,M,Lはオートフォーカスを設定するエリアを表しており、Small（小）、Middle（中）、Large（大）の略です。

オートフォーカスの動作モードの表示は、次のように切り替わります。

AUTO S ↔ AUTO M ↔ AUTO L ↔ NORMAL S
↑ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
↔ NORMAL L ↔ NORMAL M ↔

メモ

- 電子感度アップ（SENS UP）を X2 FIX、X2 AUTO 以外の設定で使用する場合、「AUTO（S,M,L）」は使用できません。自動的に「NORMAL（S,M,L）」に設定されます。
- WIDE（広角）で合わせた後にズームアップするとピントがぼける場合があります。
- 以下のような被写体は、オートフォーカスではピントが合わせられません。手動操作でピントを合わせてください。

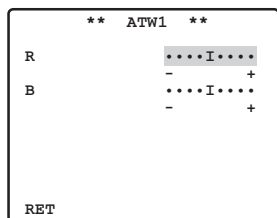
（例）・輝いたり、強い光が反射する被写体

- ・水滴や汚れのついたガラス越しにある被写体
- ・遠くの被写体と近くの被写体が混在する場合
- ・白い壁など、明暗差のない被写体
- ・ブラインドなど、横じまの被写体
- ・斜めの被写体
- ・暗い被写体

また、オートフォーカスは、画面の中央部にある被写体に対してピントを合わせますので、画面の周辺にある被写体にはピントが合いません。

(3) ホワイトバランスを微調整する

「(2) シーンファイルを設定する」の手順6 (⇒32ページ) で、ATW設定メニューまたはAWC設定メニューを表示して、ホワイトバランスの微調整を行う場合の操作です。

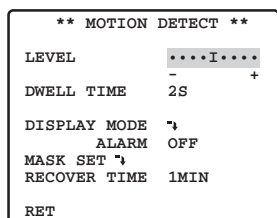


ATW設定メニュー

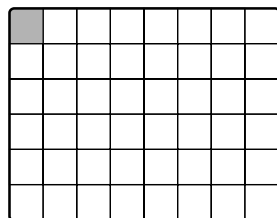
- 1 カーソルを「R」の項目、「B」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、レベルを微調整します
「R」は赤色、「B」は青色を表しており、+方向に動かすと色が濃く、-方向に動かすと色が薄くなります。

(4) モーションディテクター機能の詳細設定を行う

「(2) シーンファイルを設定する」の手順7 (⇒33ページ) で、モーションディテクター設定メニューを表示して、モーションディテクター機能の詳細設定を行う場合の操作です。



モーションディテクター設定メニュー



マスク設定画面

- 1 「MASK SET」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、マスク設定画面を表示します
- 2 映像変化（動き）を検出しないエリアにマスクを設定します
マスクの設定方法は、29ページの手順3（SUPER-D IIの設定）を参照してください。マスク設定後、モニター（ESC）ボタンを押すとモーションディテクター設定メニューに戻ります。
- 3 カーソルを「ALARM」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、デモモード時（手順4）のアラーム動作を設定します
ON：デモモード時にアラームを出力します。
OFF：デモモード時にアラームを出力しません。
- 4 「DISPLAY MODE」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、デモモードを実行します

デモモードについて

1画面を48ブロックに分割した状態で輝度変化の検出を行い、設定した検出感度レベルを超える輝度平均の変化が起こった部分をマスク表示します。

デモモードの結果をもとに、検出感度レベルの調整（手順5）や検出エリアの設定（手順1）をくり返し、最適の状態にします。

(⇒次ページへつづく)

プリセット設定（つづき）

5 カーソルを「LEVEL」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、検出感度レベルを設定します

+方向に動かすと感度が上がり、-方向に動かすと感度が下がります。手順4、5をくり返し最適のレベルに設定します。

検出条件について

被写体の大きさ : 動く物体は画面の1/48ブロック以上の大きさが必要。

被写体のコントラスト : 背景画像と動く物体のコントラスト比が、5%（最大感度設定時）以上必要。


被写体の動く速さ : 画面の端から端を物体が通過する時間が0.1秒~0.8秒必要。それよりも速く、または遅く動く物体は検出できません。

注：コントラスト比が十分な場合は、大きさ・動く速さの制限は緩和されます。

6 カーソルを「DWELL TIME」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、アラーム検出の間引き時間を設定します

アラーム検出後、設定時間が経過するまでは、次のアラームは検出されません。時間の表示は、次のように切り替わります。（単位：秒）

2S↔5S↔10S↔30S



7 カーソルを「RECOVER TIME」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、アラーム復帰時間を設定します

時間の表示は、次のように切り替わります。(単位：分)

OFFに設定した場合は、別の操作をするまで復帰しません。

OFF ↔ 1MIN ↔ 2MIN ↔ 3MIN ↔ 5MIN ↔ 10MIN ↔ 20MIN ↔ 30MIN ↔ 60MIN

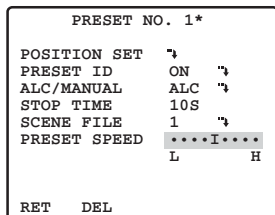
メモ

- 風に揺れるカーテンなどを検出する場合は、マスク設定により検出エリアから除外してください。
- 低照度下のノイズが多い条件では誤動作する場合がありますので、感度（LEVEL）を下げてください。また、車のヘッドライトや照明のON/OFFなどにより被写体の照度が急激に変化する場合は、誤検出する場合があります。
- 本機で映像の変化（動き）を検出してから、VTRなどのアラーム端子に信号が送られるまでに約0.2秒の遅れがあります。また、設定メニューを表示している場合、アラームは出力されません。（ただし、デモモードでアラームをONにしているときは除きます）
- モーションディテクター機能を「ON」にすると、ブランキング期間にアラームデータを出力するため、VTRのタイムコードなどを使用する機器は誤動作します。同軸通信をしないときは、モーションディテクター機能を「OFF」にしてください。
- モーションディテクター機能は盗難、火災などの専用防止装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切負いかねます。

プリセット設定 (つづき)

●プリセットスピードを設定する [PRESET SPEED]

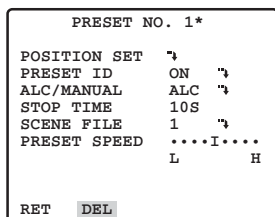
セットアップメニューのオートモード (AUTO MODE) を「SEQ」に設定すると、設定されているプリセットポジションを、小さいプリセット番号から順番に切り替えて映し出します。ここでは、シーケンス動作時のプリセットポジションへの移動速度を設定します。



プリセット設定メニュー

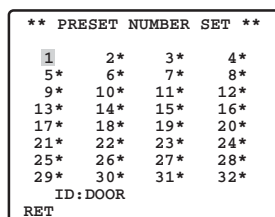
- 1 カーソルを「PRESET SPEED」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、移動速度を設定します
L方向に動かすと速度が遅くなり、H方向に動かすと速度が速くなります。

●設定したプリセットポジションを消去する [DEL]



プリセット設定メニュー

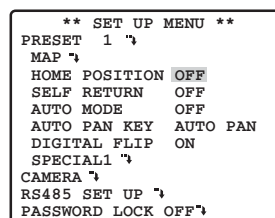
- 1 カーソルを「DEL」の項目に合わせ、カメラ (セット) ボタンを押します
そのプリセット番号の設定内容は消去され、ポジション選択メニューが表示されます。



ポジション選択メニュー

ホームポジションの設定 [HOME POSITION]

あらかじめ設定したプリセットポジションをホームポジションとして設定できます。



セットアップメニュー

- 1 カーソルを「HOME POSITION」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、設定したいプリセット番号を選択します
選択したプリセット番号がホームポジションとして設定されます。ホームポジションを使用しないときは、「OFF」を選択してください。

セルフリターンの設定 [SELF RETURN]

手動での操作終了後に一定時間を経過すると、任意の動作モードへ自動的に戻ることができます。ここでは、自動的に戻るまでの時間と、一定時間経過後に戻る動作モードを設定します。

```
  ** SET UP MENU **  
PRESET 1 ↵  
MAP ↵  
HOME POSITION 1  
SELF RETURN 10MIN HP  
AUTO MODE OFF  
AUTO PAN KEY AUTO PAN  
DIGITAL FLIP ON  
SPECIAL1 ↵  
CAMERA ↵  
RS485 SET UP ↵  
PASSWORD LOCK OFF ↵
```

セットアップメニュー

1 カーソルを「SELF RETURN」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、手動操作終了後に自動的に戻るまでの経過時間を設定します。

経過時間の表示は、次のように切り替わります。(単位：分)

1MIN↔2MIN↔3MIN↔5MIN↔10MIN↔20MIN
↑
OFF↔60MIN↔30MIN↔

2 手順1で、OFF以外に設定した場合、カメラ（セット）ボタンを押した後、ジョイスティックを左または右に動かし、手動操作終了後に自動的に戻る動作モードを設定します。

OFF↔AT↔HP↔AP↔SQ↔SR↔PT
↑

OFF：一定時間経過後、オートモード動作をしている場合は、オートモード動作を停止します。

AT：一定時間経過後、オートモード設定がOFF以外のときは、オートモード動作に、オートモード設定がOFFのときは、ホームポジションに戻ります。

HP：一定時間経過後、ホームポジションに戻ります。

AP：一定時間経過後、オートパン動作が起動します。

SQ：一定時間経過後、シーケンス動作が起動します。

SR：一定時間経過後、ソート動作が起動します。

PT：一定時間経過後、パトロール動作が起動します。

メモ

- 普段はホームポジションに向けておき、時々システムコントローラーから、パンチルト操作やSEQを起動したい場合は、この設定を「HP」にします。

プリセット設定 (つづき)

オートモードの設定 [AUTO MODE]

カメラの動作モード (OFF、SEQ、SORT、AUTO PAN、PATROL) を設定します。「AUTO PAN」を選択した場合は、AUTO PAN設定メニューで詳細設定を行います。

```
** SET UP MENU **
PRESET 1 ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
AUTO PAN KEY AUTO PAN
DIGITAL FLIP ON
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
PASSWORD LOCK OFF ↵
```

セットアップメニュー

1 カーソルを「AUTO MODE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、動作モードを設定します

- OFF : 手動操作でのみ動作します。
- SEQ : 設定されているプリセットポジションを、小さいプリセット番号から順番に切り替えます。(シーケンス動作)
- SORT : 設定されているプリセットポジションを、カメラの原点位置から左回りに切り替えます。(シーケンス動作)
- AUTO PAN : 設定したPANの範囲を自動的に旋回します。「AUTO PAN」を選択してカメラ (セット) ボタンを押すと、AUTO PAN設定メニューが表示され、詳細設定が行えます。(⇒41ページ)
- PATROL : パトロール機能で設定した動作を行います。設定内容は、次のように切り替わります。

OFF ↔ SEQ ↔ SORT ↔ AUTO PAN ↔ PATROL

メモ

- SEQ、SORT、PATROL動作時にPAN/TILTやZOOM/FOCUSを手動操作すると、オートモードは解除されます。ただし、設定メニュー上は変更されませんので、一度セットアップメニューを開いてから閉じるか、セルフリターンの設定時間 (⇒39ページ) を経過するとオートモード機能が働き始めます。
- 動作中にレンズがリフレッシュモードに入ることがあります。

●AUTO PANの詳細内容を設定する

** AUTO PAN **	
POSITION	START
	END
SPEEDI.....
	L H
ENDLESS	OFF
STOP TIME	1S
PAN LIMIT	OFF
ZOOM LIMIT	OFF
RET	

AUTO PAN設定メニュー

1 PANのスタート位置とエンド位置を次の手順で設定します

- ① カーソルを「POSITION SET」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します
「START」にカーソルが移動します。
- ② ジョイスティックでカメラを動かしてPANのスタート位置を決め、カメラ（セット）ボタンを押します
スタート位置が決定し、「END」にカーソルが移動します。
- ③ ジョイスティックでカメラを動かしてPANのエンド位置を決め、カメラ（セット）ボタンを押します
エンド位置が決定し、「POSITION SET」にカーソルが移動します。

2 カーソルを「SPEED」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、PANの回転速度を設定します

+方向に動かすと回転速度が速くなり、-方向に動かすと回転速度が遅くなります。

3 カーソルを「ENDLESS」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、エンドレス旋回のON/OFFを設定します

ON：スタート位置からエンド位置に向かってPAN旋回し、次に同じ方向に旋回してエンド位置からスタート位置に戻ります。PAN LIMIT（手順5）は「OFF」に設定してください。以後この動作をくり返します。

OFF：スタート位置からエンド位置に向かってPAN旋回し、次に逆方向に旋回してエンド位置からスタート位置に戻ります。以後この動作をくり返します。

4 カーソルを「STOP TIME」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、スタート位置およびエンド位置での停止時間を設定します

停止時間の表示は、次のように切り替わります。（単位：秒）

0S↔1S↔2S↔3S↔5S↔10S↔20S↔30S



プリセット設定 (つづき)

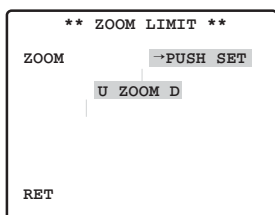
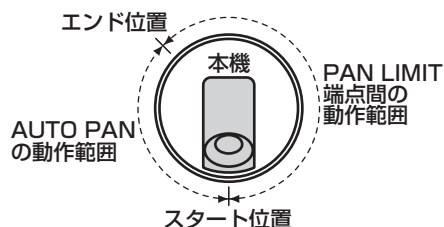
5 カーソルを「PAN LIMIT」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON : 手動操作時は、PAN LIMIT端点間へカメラを向けることができません。90°までのTILT (垂直) 動作範囲となります。ENDLESS (手順3) は「OFF」に設定してください。

OFF : 手動操作時でも、PAN LIMIT端点間へカメラを向けられます。

PAN LIMIT端点間について

手順1で設定したスタート位置からエンド位置までの端点間の反対側をPAN LIMIT端点間といいます。





ZOOM LIMIT設定メニュー

6 カーソルを「ZOOM LIMIT」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON : 手動操作時は、ZOOM LIMIT位置よりTELE方向にズームレンズを操作することはできません。

OFF : 手動操作時でも、ZOOM LIMIT位置よりTELE方向にズームレンズを操作することができます。

ZOOM LIMIT位置は、次の手順で設定します

- ① ZOOM LIMITをON  に設定し、カメラ (セット) ボタンを押します。
ZOOM LIMIT設定メニューが表示されます。
- ②  PUSH SETにカーソルを合わせ、カメラ (セット) ボタンを押します。
- ③ ZOOMスイッチでズームレンズを操作し、ZOOM LIMIT位置を調整し、カメラ (セット) ボタンを押します。

AUTO PAN キー機能の設定 [AUTO PAN KEY]

システムコントローラーのAUTO PAN実行操作を行ったときに起動される、動作モードを設定します。

```
** SET UP MENU **
PRESET 1 ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
AUTO PAN KEY AUTO PAN
DIGITAL FLIP ON
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
PASSWORD LOCK OFF ↵
```

セットアップメニュー

- 1 カーソルを「AUTO PAN KEY」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、動作モードを設定します。
動作モードは次のように切り替わります。

AUTO PAN ↔ SEQ ↔ SORT
↑ → PATROL ← ↑

「SEQ」「SORT」「AUTO PAN」はオートモードの設定（⇒40ページ）と同じです。
「PATROL」はパトロール機能の設定（⇒53ページ）が「PLAY」のときと同じです。

メモ

- 「SEQ」「SORT」「PATROL」に設定した場合、設定どおりの動作はしますがAUTO PANボタンのLEDは点灯しません。また、AUTO PANボタンでの停止はできません。

プリセット設定 (つづき)

デジタルフリップ機能の設定 [DIGITAL FLIP]

通常の垂直回転動作ではカメラが真下を向いたところで停止しますが、デジタルフリップ機能を使用すると垂直方向0°～180°をワンモーションで回転することができ、カメラの真下を通り過ぎる被写体を滑らかに追跡して撮影できます。(135°付近で画像の上下左右を反転します)

```
** SET UP MENU **
PRESET 1 ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
AUTO PAN KEY AUTO PAN
DIGITAL FLIP ON
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
PASSWORD LOCK OFF ↵
```

セットアップメニュー

- カーソルを「DIGITAL FLIP」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます
ON : デジタルフリップ機能を使用します。(PAN LIMITがONのときは90°までの回転となります。)
OFF : デジタルフリップ機能を使用しません。垂直方向0°～90°の範囲で回転します。

メモ

- デジタルフリップ機能は、ジョイスティックを真下に向け続けたときに動作します。上、斜め上のときは動作しません。
- デジタルフリップ機能を「OFF」に設定している場合、カメラを垂直方向に180°動かすには次の操作が必要です。
 - ジョイスティックを下に動かし、カメラを真下に向ける
 - ジョイスティックを左または右に動かし、カメラを水平方向に180°回転する
 - ジョイスティックを上を動かす
- WJ-SX777DやWV-CU360Cによるプリセットのダイレクト設定時は、一時的にデジタルフリップ機能と電子ズーム機能を「OFF」にしてください。垂直方向90°～180°の範囲は設定できません。

パスワードロック機能の設定 [PASSWORD LOCK]

設定内容は次のとおりです。ON→OFFへの切り替え、およびOFF→ONへの切り替えには、必ずパスワード入力が必要となります。

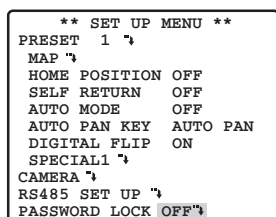
ON：設定の変更を禁止します。

特定の管理者だけが設定の変更をする場合はこの設定にします。

OFF：設定の変更ができます。

(1) ON/OFFを切り替える

VTRに録画していると、入力操作が録画されパスワードがわかってしまいますので、ご注意ください。



セットアップメニュー



パスワード入力メニュー

- 1 カーソルを「PASSWORD LOCK」の項目（ONまたはOFF）に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します
パスワード入力メニューが表示されます。
- 2 カーソルを数字（0～9）に合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、パスワード（3桁）を入力します
1桁入力するごとに「↑」印が右に移動し、3桁のパスワードを入力するとカーソルが「OK」に移動します。

メモ

- 工場出荷時のパスワードは「1 2 3」です。

入力を間違えたときは、「RESET」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、最初からパスワードを入れ直してください。

- 3 カメラ（セット）ボタンを押します
セットアップメニューに戻り、PASSWORD LOCKのON/OFFが切り替わります。
誤ったパスワードが入力されると、再度パスワードを入力する状態になりますので、手順2の操作を行ってください。

(⇒次ページへつづく)

プリセット設定 (つづき)

(2) パスワードを変更する

パスワードロック機能を「ON」で使用する場合は、工場出荷時のパスワードを変更することをおすすめします。設定したパスワードは忘れないように注意してください。

```
** SET UP MENU **
PRESET 1 ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
AUTO PAN KEY AUTO PAN
DIGITAL FLIP ON
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
PASSWORD LOCK OFF ↵
```

セットアップメニュー

```
** PASSWORD? **
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
. . .
↑

OK RESET
NEW PASSWORD ↵
RET
```

パスワード入力メニュー

```
** NEW PASSWORD? **
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
. . .
↑
. . .
↑

OK RESET
RET
```

パスワード設定メニュー

1 カーソルを「PASSWORD LOCK」の項目 (ONまたはOFF) に合わせ、カメラ (セット) ボタンを押します
パスワード入力メニューが表示されます。

2 カーソルを数字 (0~9) に合わせてカメラ (セット) ボタンを押し、現在のパスワード (3桁) を入力します
1桁入力するごとに「↑」印が右に移動し、3桁のパスワードを入力するとカーソルが「OK」に移動します。

入力を間違えたときは、「RESET」にカーソルを合わせてカメラ (セット) ボタンを押し、最初からパスワードを入れ直してください。

3 カーソルを「NEW PASSWORD ↵」に合わせてカメラ (セット) ボタンを押し、パスワード設定メニューを表示します
誤ったパスワードが入力されると、再度パスワードを入力する状態になりますので、手順2の操作を行ってください。

4 カーソルを数字 (0~9) に合わせてカメラ (セット) ボタンを押し、新しいパスワード (3桁) を入力します
カーソルが「OK」に移動します。

5 カメラ (セット) ボタンを押します
もう一度新しいパスワードを入力する状態になります。
モニター (ESC) ボタンでは設定できません。

6 カーソルを数字 (0~9) に合わせてカメラ (セット) ボタンを押し、もう一度新しいパスワード (3桁) を入力します
カーソルが「OK」に移動します。

7 カメラ (セット) ボタンを押します
パスワードの変更が完了し、セットアップメニューに戻ります。
1回目と2回目に入力したパスワードが違っていると、再度パスワードを入力する状態になりますので手順4,5,6,7の操作を行ってください。モニター (ESC) ボタンでは設定できません。

特別メニューの設定 [SPECIAL1]

プライバシーゾーンやパトロール機能など、特別な機能を設定します。

●特別メニューを表示する

```
** SET UP MENU **
PRESET 1 ↵
MAP ↵
HOME POSITION OFF
SELF RETURN OFF
AUTO MODE OFF
AUTO PAN KEY AUTO PAN
DIGITAL FLIP ON
SPECIAL1 ↵
CAMERA ↵
RS485 SET UP ↵
PASSWORD LOCK OFF↵
```

セットアップメニュー

```
** SPECIAL 1 **
PRIVACY ZONE OFF ↵
PROPO.P/T ON
AREA TITLE OFF
PATROL STOP
ALARM IN/OUT ↵
CLEANING OFF
EL-ZOOM ON
PRESET ALM OFF
IMAGE HOLD OFF
TILT ANGLE 0°
RET
```

特別メニュー

- 1 カーソルを「SPECIAL1 ↵」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します
特別メニューが表示されます。

次ページから各設定項目と操作方法の説明をします。

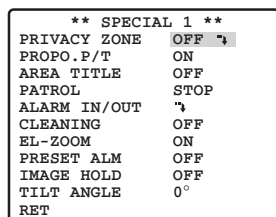
プリセット設定 (つづき)

●プライバシーゾーンを設定する [PRIVACY ZONE]

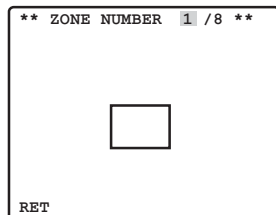
撮影場所 (画面) の中に映したくない部分がある場合、その部分だけを映さないようにする機能です。プライバシーゾーンは、8か所まで設定できます。ただし、WIDE (広角) いったいに表示した1画面中に設定できるのは4か所までです。

メモ

- 設定したプライバシーゾーンは、カメラの向きによっては映ってしまう場合もあります。
- 電源投入直後の初期化動作時は、プライバシーゾーン機能は働きません。
- プライバシーゾーンが同一画面に5つ以上表示される条件では、全画面がマスクされます。このような場合は、設定数を減らし、プライバシーゾーンを大きめに設定してください。

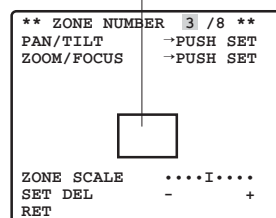


特別メニュー



ゾーン番号選択メニュー

ゾーン枠



ゾーン設定メニュー

1 カursorを「PRIVACY ZONE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

- ON : プライバシーゾーンを使用します。
- OFF : プライバシーゾーンを使用しません。

プライバシーゾーンの設定は、手順2以降の操作を行います。

2 カursorを「PRIVACY ZONE」の項目に合わせて、カメラ (セット) ボタンを押します

ゾーン番号選択メニューが表示されます。エリア未設定時、画面は WIDE (広角) になります。

3 カursorを「ZONE NUMBER」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、設定したいゾーン番号 (1~8) を選択します

ゾーン番号右側の「*」印は、プライバシーゾーンが設定されていることを表します。この場合、設定時のズーム画角になります。

4 カメラ (セット) ボタンを押し、ゾーン設定メニューを表示します

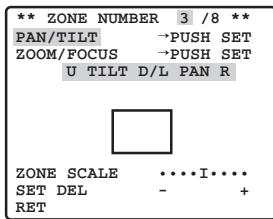
ゾーンの設定状態によりメニューは次のように表示されます。

[設定済みのゾーン番号を選択した場合]

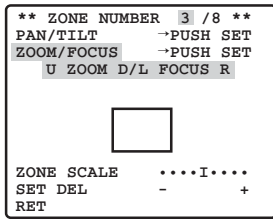
設定されているゾーンが画面中央に表示されます。手順5以降の操作をすると、設定されているゾーンは消去され、新しいゾーンを設定する状態になります。

<未設定のゾーン番号を選択した場合>

- 画面上に設定されているゾーンが3か所以下のときは、ゾーン枠が表示されます。ただし、手順5,6のPAN/TILT操作でゾーンが4か所存在する画面に移ったときは、ゾーン枠は表示されなくなります。
- 画面上に設定されているゾーンが4か所あるときは、ゾーン枠は表示されません。ただし、手順5,6のPAN/TILT操作でゾーンが3か所以下の画面に移ったときは、ゾーン枠が表示されます。



PAN/TILT設定メニュー



ZOOM/FOCUS設定メニュー

- 5 PAN/TILT右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、PAN/TILT設定メニューを表示します
- 6 ジョイスティックを上下左右に動かしてカメラの向き（水平・垂直位置）をゾーン設定したい場所に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します
カメラの向きが決定し、ゾーン設定メニューに戻ります。
- 7 ZOOM/FOCUS右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、ZOOM/FOCUS設定メニューを表示します
- 8 ジョイスティックを上下左右に動かして、ズーム・フォーカスを調整し、カメラ（セット）ボタンを押します
調整が完了し、ゾーン設定メニューに戻ります。
ズーム調整は1倍から10倍の範囲で設定できます。
- 9 カーソルを「ZONE SCALE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ゾーン枠の大きさを設定します
－方向に動かすと小さくなり、＋方向に動かすと大きくなります。ただし、縦横の比率は3:4に固定されています。
- 10 カーソルを「SET」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します
プライベートゾーンの設定が完了し、ゾーン番号選択メニューに戻ります。
「DEL」を選択した場合は、ゾーンの設定を解除します。

プリセット設定 (つづき)

●ズーム連動PAN/TILTスピード機能を設定する [PROPO. P/T]

ズーム比に応じてPAN/TILT（水平回転/垂直回転）の動作速度を自動調節する機能です。

同じ動作速度でPAN/TILT操作を行うと、ズーム位置がWIDE（広角）側のときはゆっくり動いているように感じますが、TELE（望遠）側のときは高速で動いているように感じ映像が見つらなくなります。

ズーム連動PAN/TILTスピード機能を使用すると、ズーム比に応じてPAN/TILTの動作速度を自動調節するため、最適な映像を見ることができます。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	OFF ↕
PROPO. P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↕
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
TILT ANGLE	0°
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「PROPO. P/T」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON : ズーム連動PAN/TILTスピード機能を使用します。

OFF : ズーム連動PAN/TILTスピード機能を使用しません。

●エリアタイトルを設定する [AREA TITLE]

撮影場所の方角を画面に表示する機能の設定です。また、方角のかわりに任意の文字を表示することもできます。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	OFF ↕
PROPO. P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↕
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
TILT ANGLE	0°
RET	

特別メニュー

表示する方角は、N（北）、NE（北東）、E（東）、SE（南東）、S（南）、SW（南西）、W（西）、NW（北西）です。

1 カーソルを「AREA TITLE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、エリアタイトルのON/OFFを設定します

ON (NESW): 方角を画面に表示します。

「ON (NESW)」を選択してカメラ（セット）ボタンを押すと、ポジション（NESW）設定メニューが表示され、詳細設定が行えます。
(⇒51ページ)

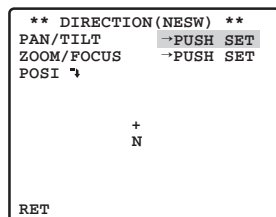
ON (USER): 設定した文字を画面に表示します。

「ON (USER)」を選択してカメラ（セット）ボタンを押すと、エリアタイトル（USER）選択メニューが表示され、詳細設定が行えます。
(⇒52ページ)

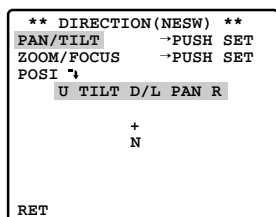
OFF : エリアタイトルを表示しません。

(1) 「ON (NESW)」を選択した場合

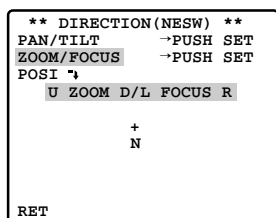
ポジション (NESW) 設定メニューを表示して、詳細設定を行う場合の操作です。
「N (北)」の位置を設定することにより、他の方角が自動的に設定されます。



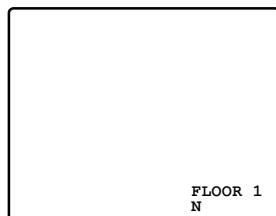
ポジション設定メニュー



PAN/TILT設定メニュー



ZOOM/FOCUS設定メニュー



表示位置設定メニュー

- 1 PAN/TILT右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ (セット) ボタンを押し、PAN/TILT設定メニューを表示します
- 2 ジョイスティックを上下左右に動かしてカメラの向き (水平・垂直位置) を北の方角に合わせ、カメラ (セット) ボタンを押しします
- 3 ZOOM/FOCUS右側の「→PUSH SET」にカーソルを合わせてカメラ (セット) ボタンを押し、ZOOM/FOCUS設定メニューを表示します
- 4 ZOOMスイッチでズームを、FOCUSスイッチでフォーカスを調整し、カメラ (セット) ボタンを押しします
- 5 カーソルを「POSI ↴」に合わせ、カメラ (セット) ボタンを押しします
表示位置設定メニューが表示されます。
- 6 ジョイスティックを動かしてエリアタイトルの表示位置を設定し、モニター (ESC) ボタンを押しします
エリアタイトルの表示位置が決定し、ポジション設定メニューに戻ります。

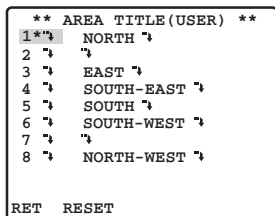
メモ

- エリアタイトルは、常にカメラIDの下側に表示されます。カメラIDの表示位置とエリアタイトルの表示位置を別々の位置に設定した場合、エリアタイトルの表示位置設定が優先されます。

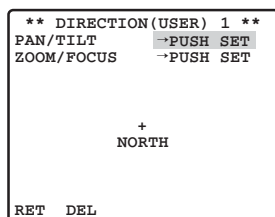
プリセット設定 (つづき)

(2) 「ON (USER)」 を選択した場合

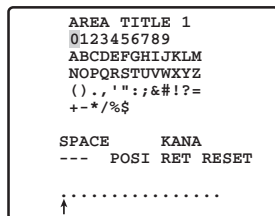
エリアタイトル (USER) 選択メニューを表示して、詳細設定を行う場合の操作です。8種類の方角と、そのエリアタイトルを個別に設定していきます。



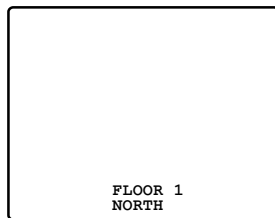
エリアタイトル選択メニュー



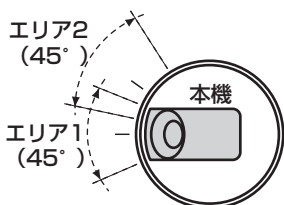
ポジション設定メニュー



エリアタイトル設定メニュー



表示位置設定メニュー



1 カーソルをエリア番号「1」に合わせてカメラ (セット) ボタンを押し、ポジション設定メニューを表示します
番号右側の「*」印は、エリアタイトルが設定されていることを表します。
タイトル名が設定されていると、「+」印の下に表示されます。設定されていないときは、「+」印のみ表示されます。

2 カメラの向き (水平・垂直位置)、ズーム位置、フォーカス調整を行います
操作方法は、「(1) ON (NESW) を選択した場合」の手順1,2,3,4と同じです。(⇒51ページ)

3 カーソルをタイトル名表示部に合わせてカメラ (セット) ボタンを押し、エリアタイトル設定メニューを表示します
左記エリアタイトル選択メニューでは「NORTH ↴」がエリア番号1のタイトル名表示部になります。

4 エリアタイトルを設定します
操作方法は、プリセットIDの設定方法と同じです。
「●プリセットIDを設定する (⇒26～27ページ)」の手順3,4,5の操作を行い、タイトル名と表示位置を設定してください。

5 手順1～4の操作をくり返し、エリア番号2～8を設定します

メモ

- エリアタイトルの表示範囲は、手順2で設定した位置を中心に45°の範囲内です。カメラの向きが他のエリア番号と重なる位置では、近いエリア番号のタイトルが表示されます。同一の位置に設定すると、大きいエリア番号のタイトルが表示されます。
- エリアタイトルは、常にカメラIDの下側に表示されます。カメラIDの表示位置とエリアタイトルの表示位置を別々の位置に設定した場合、エリアタイトルの表示位置設定が優先されます。

●パトロール機能を設定する [PATROL]

手で操作した内容を記憶し、再現する機能です。最大1分間の動作を記憶できます。例えば、店の入口から売場までの人の動きを追跡して監視したいときなど、カメラの動作を手動操作することにより、その内容が記憶されます。記憶した操作内容を再現することにより、そのカメラ動作で監視が行えます。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	OFF ↗
PROPO.P/T	ON
AREA TITLE	OFF ↗
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↗
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
TILT ANGLE	0°
RET	

特別メニュー

- 1 カメラの動作を記憶するときは、カメラの向きを動作開始位置に合わせます
- 2 カーソルを「PATROL」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、パトロール機能を設定します
 - STOP : パトロール機能を使用しません。
 - PLAY : 記憶したカメラ動作を再現します。
(⇒55ページ)
 - LEARN : カメラ動作を記憶します。(⇒54ページ)

メモ

- 「LEARN」を選択してカメラ動作を記憶する場合、記憶される内容は次のとおりです。

①動作開始位置記憶時

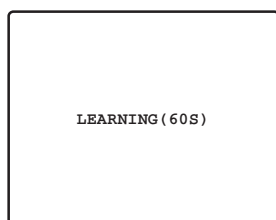
- ・ PAN/TILT/ZOOM/FOCUSの位置
- ・ IRISのレベル
- ・ シャッター速度 (SHUTTER) のレベル
- ・ ゲイン (AGC) の設定
- ・ 電子感度アップ (SENS UP) の設定
- ・ ホワイトバランス (WHITE BAL) の設定

②カメラ操作時

- ・ PAN/TILT/ZOOM/FOCUS
- ・ IRISのOPEN/CLOSE
- ・ プリセットポジションの移動

プリセット設定（つづき）

（1）カメラ動作を記憶する（LEARNを選択した場合）



記憶中の画面

[カメラパトロールボタンのあるシステムコントローラー使用時]

- 1 カメラ設定ボタンとカメラパトロールボタンを同時に押します
開始位置が記憶され、カメラ動作を記憶する状態になります。
- 2 カメラを操作し、動作を記憶します
記憶中は画面中央に「LEARNING (60S)」の文字が表示されます。(単位：秒)
- 3 パトロール停止ボタンを押し、記憶を停止します
設定メニューの表示、または残り時間の表示が「OS」(単位：秒)に到達したときも記憶を停止します。(単位：秒)

[カメラパトロールボタンのないシステムコントローラー使用時]

- 1 設定メニュー（特別メニュー、セットアップメニュー）を消します
開始位置が記憶され、カメラ動作を記憶する状態になります。
- 2 カメラを操作し、動作を記憶します
記憶中は画面中央に「LEARNING (60S)」の文字が表示されます。(単位：秒)
- 3 セットアップメニューを表示し、記憶を停止します
残り時間の表示が「OS」に到達したときも記憶を停止します。(単位：秒)

メモ

- 記憶中に電源が切れた場合は、最初から設定をし直してください。
詳細はシステムコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

(2) 記憶したカメラ動作を再現する (PLAYを選択した場合)

[カメラパトロールボタンのあるシステムコントローラー使用時]

- 1 **カメラパトロールボタンを押します**
カメラの向きが開始位置に移動し、記憶したカメラ動作を再現します。
- 2 **再現を終了するときは、パトロール停止ボタンを押します**
IRISを除く手動操作をしたときも再現を停止します。

[カメラパトロールボタンのないシステムコントローラー使用時]

- 1 **設定メニュー (特別メニュー、セットアップメニュー) を消します**
カメラの向きが開始位置に移動し、記憶したカメラ動作を再現します。
- 2 **再現を終了するときは、IRIS以外の手動操作をします**
オートフォーカスの起動操作でも再現を停止します。

[AUTO PANキーを使用する場合]

AUTO PANキー機能の設定 (⇒43ページ) を「PATROL」にした場合の操作です。

- 1 **AUTO PANボタンを押します**
カメラの向きが開始位置に移動し、記憶したカメラ動作を再現します。
- 2 **再現を終了するときは、パトロール停止ボタンを押します**
IRISを除く手動操作をしたときも再現を停止します。

メモ

- パトロール機能のPLAY中に、レンズがリフレッシュモードに入ることがあります。
-

プリセット設定 (つづき)

●アラーム機能を設定する [ALARM IN/OUT]

本機のアラーム入力ケーブル、アラーム出力ケーブルにアラーム信号の入出力があった場合の動作設定を行います。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	OFF ↘
PROPO.P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↘
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
TILT ANGLE	0°
RET	

特別メニュー

** ALARM IN/OUT **	
ALARM IN 1	1POST
ALARM IN 2	2POSI
ALARM IN 3	OFF
ALARM IN 4	4POSI
CNT-CLS 1	ALARM
TIME OUT	100MS
CNT-CLS 2	AUX2
COAX ALM OUT	ON
RET	


アラーム設定メニュー

- 1 カーソルをALARM IN/OUT右側の「↘」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します
アラーム設定メニューが表示されます。
- 2 カーソルを「ALARM IN 1」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力1端子に信号を受けたときのカメラ動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
1POSI : プリセット番号1のポジションに移動します。
- 3 カーソルを「ALARM IN 2」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力2端子に信号を受けたときの動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
2POSI : プリセット番号2のポジションに移動します。
- 4 カーソルを「ALARM IN 3」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力3端子に信号を受けたときの動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
3POSI : プリセット番号3のポジションに移動します。
- 5 カーソルを「ALARM IN 4」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、外部からアラーム入力4端子に信号を受けたときの動作を設定します
OFF : アラーム入力前と同じ動作をします。
4POSI : プリセット番号4のポジションに移動します。

- 6** カーソルを「CNT-CLS 1」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、アラーム検知時のアラーム出力1端子から外部へのアラーム出力動作を設定します
- OFF : 外部へのアラーム出力はしません。
 - ALARM : モーションディテクター機能 (⇒33ページ) およびプリセットアラーム機能 (⇒59ページ) にてアラームを検知したときにアラーム信号を出力します。この設定にした場合は、アラーム信号の出力時間を手順7で設定します。
 - AUX1 : システムコントローラーから「AUX1」の入力があったときに、端子クローズ信号を出力します。

- 7** 手順6で「ALARM」を選択したときは、カーソルを「TIME OUT」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、アラーム信号の出力時間を設定します
- 出力時間の表示は、次のように切り替わります。(単位: ms)

100MS ↔ 200MS ↔ 1000MS ↔ 2000MS ↔ 4000MS



- 8** カーソルを「CNT-CLS 2」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、アラーム検知時のアラーム出力2端子から外部へのアラーム出力動作を設定します
- OFF : 外部へのアラーム出力はしません。
 - AUX2 : システムコントローラーから「AUX2」の入力があったときに、端子クローズ信号を出力します。

- 9** カーソルを「COAX ALM OUT」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます
- 手順2,3,4,5でALARM IN 1~4を「1POSI」「2POSI」「3POSI」「4POSI」に設定した場合のアラーム出力動作設定です。
- ON : アラーム入力1~4端子にアラーム入力があり、カメラの向きがプリセット番号1~4に移動完了した時点で映像出力ケーブルからアラーム信号を出力します。
 - OFF : アラーム信号を出力しません。

メモ

- プリセットデータのダウンロード、アップロード時は「OFF」にしてください。
-

プリセット設定 (つづき)

●クリーニング機能を設定する [CLEANING]

本機ではスリップリングと呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。このスリップリングが汚れると、画質の劣化やノイズが発生することがあります。

クリーニング機能を使用すると、約1週間ごとにクリーニング機能が働き、スリップリングの汚れを除去することができます。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	OFF ↖
PROPO. P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↕
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
TILT ANGLE	0°
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「CLEANING」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON：クリーニング機能を使用します。

OFF：クリーニング機能を使用しません。

クリーニング機能が働いているときは、画面中央に「CLEANING」の文字が表示されます。

メモ

- システム機器とデータのアップロード、ダウンロードをするときは、クリーニング機能を「OFF」にしてください。途中でクリーニング機能が働くと、アップロード、ダウンロードが失敗します。

●電子ズーム機能を設定する [EL-ZOOM]

電子ズーム機能（最大10倍）のON/OFFを設定します。

本機には光学式22倍ズームレンズが搭載されていますが、電子ズーム機能を使用することにより、約220倍まで倍率を変えることができます。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	OFF ↖
PROPO. P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↕
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
TILT ANGLE	0°
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「EL-ZOOM」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON：電子ズーム機能を使用します。

OFF：電子ズーム機能を使用しません。

メモ

- 電子ズームの倍率を上げると画質が悪化します。
- 電子ズーム機能は、プリセットポジション設定では動きません。
- WJ-SX777DやWV-CU360Cによるプリセットのダイレクト設定時は、一時的に電子ズーム機能を「OFF」にすることが必要です。

●プリセットアラーム機能を設定する [PRESET ALM]

カメラの向きがプリセットポジションへ移動完了したときに、映像出力ケーブルおよびアラーム出力ケーブルにアラームを出力する設定です。

アラームを出力する条件は次のとおりです。

- セルフリターン機能 (⇒39ページ) が働き、ホームポジションに移動が完了したときにアラームを出力する。
- オートモードの設定 (⇒40ページ) が「SEQ」の場合、シーケンス動作によるプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- オートモードの設定 (⇒40ページ) が「SORT」の場合、シーケンス動作によるプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
- オートモードの設定 (⇒40ページ) が「AUTO PAN」の場合、AUTO PAN開始位置までのプリセット移動が完了したときにアラームを出力する。
- 手動操作によりプリセットポジション移動が完了したときにアラームを出力する。
パトロール機能の設定 (⇒53ページ) が「PLAY」の場合、開始位置までのプリセット移動が完了するごとにアラームを出力する。

設定方法は次のとおりです。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	OFF ↖
PROPO.P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↖
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
TILT ANGLE	0°
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「PRESET ALM」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON : プリセットアラーム機能を使用します。

OFF : プリセットアラーム機能を使用しません。

メモ

- プリセットデータのダウンロード、アップロード時は「OFF」にしてください。
- 「ON」で使用する場合は、RS485設定 (⇒21ページ) の「ARARM DATA」の項目を、「AUTO1」に設定してください。

プリセット設定 (つづき)

●イメージホールドを設定する [IMAGE HOLD]

カメラの向きがプリセットポジションへ移動完了するまで、移動前の映像を静止画で表示する設定です。ネットワークインターフェースユニットを使用して、ネットワーク経由でカメラ映像を監視するときに便利です。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	OFF ↕
PROPO.P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↕
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
TILT ANGLE	0°
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「IMAGE HOLD」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます

ON : プリセットポジションの移動が完了するまで、移動前の映像を静止画で表示します。

OFF : プリセットポジションの移動中も、そのままの映像を表示します。

●チルトの動作範囲を設定する [TILT ANGLE]

水平位置よりも上を監視したい場合に、5° の設定にします。

** SPECIAL 1 **	
PRIVACY ZONE	OFF ↕
PROPO.P/T	ON
AREA TITLE	OFF
PATROL	STOP
ALARM IN/OUT	↕
CLEANING	OFF
EL-ZOOM	ON
PRESET ALM	OFF
IMAGE HOLD	OFF
TILT ANGLE	0°
RET	

特別メニュー

1 カーソルを「TILT ANGLE」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、0° / 5° を切り替えます。

0° : 水平位置までしかカメラの向きを変えることができません。

5° : 水平位置よりも上方向に5°、カメラの向きを変えることができます。

メモ

- 「TILT ANGLE」を5° に設定したとき、WIDE側（広角）で、画面の上部約半分が隠れます。

被写体によっては、AGCの効果により、映像が白くなる場合があります。

カメラ交換時のカメラ位置調整 [PAN OFFSET SET]

システムコントローラーには、カメラのプリセット設定をダウンロード（保存）、アップロード（回復）する機能があります。これは、予期せぬ障害や事故によって失われたカメラ側の設定情報を、ダウンロード（保存）した情報を元に回復するための機能です。（PATROL設定を除く）

ただし、カメラ交換時にアップロード（回復）すると、交換前の映像と微妙な位置ずれを起こすことがあります。この位置ずれを調整する機能が「PAN OFFSET SET」です。

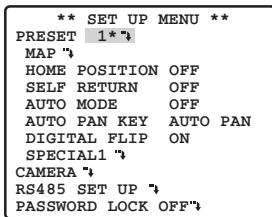
調整方法は次のとおりです。

重要

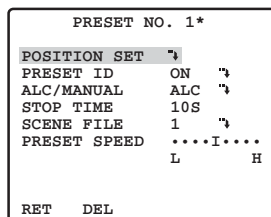
- 従来カメラ（WV-CS600, WV-CS600A, WV-CS650）とはデータの互換性はありません。従来カメラの設定情報を本機にアップロードすると、本機のデータが破壊されます。本機のデータを破壊してしまったときは、工場出荷状態の本機を準備してプリセット設定をダウンロードし、データを壊したカメラへアップロードしてください。本機には、WV-CS850/850A/850B/570のデータをアップロードすることはできませんが、本機のデータを、WV-CS850/850A/850Bにアップロードすることはできません。

(⇒次ページへつづく)

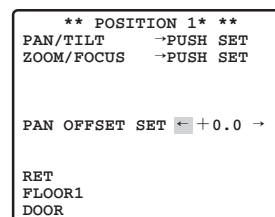
プリセット設定 (つづき)



セッティングメニュー



プリセット設定メニュー



ポジション設定メニュー

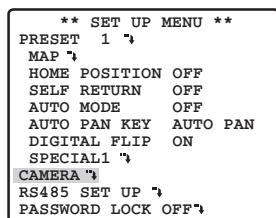
- 1 調整に使用するプリセットポジションを選択し、そのカメラ映像をTELE（望遠）側で表示します
- 2 セッティングメニューを表示します
- 3 カーソルをPRESETの設定項目「1* ↵」に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、手順1で表示したカメラ映像のプリセット番号（1～32）に切り替えます
- 4 カーソルを「POSITION SET ↵」に合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、ポジション設定メニューを表示します
- 5 「PAN OFFSET SET」の項目（←または→）にカーソルを合わせてカメラ（セット）ボタンを押し、オフセット値を設定します
オフセット値は、0.0、-10.0～+10.0の範囲で設定します。オフセット値を設定することにより、すべてのプリセットポジションのカメラ位置が修正されます。

メモ

- 設定したオフセット値はダウンロードされません。
例えば、オフセット値を「+1.0」に設定してあるカメラの情報をダウンロードして、交換したカメラにアップロードする場合、交換したカメラのオフセット値が「+1.0」以外ときは位置がずれます。

カメラ設定

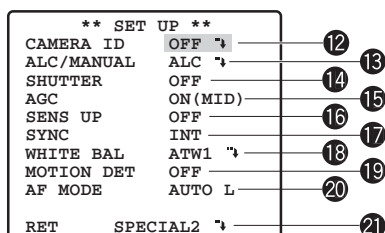
カメラ設定メニューを表示する



セットアップメニュー

- 1 カーソルを「CAMERA」に合わせ、カメラ（セット）ボタンを押します
カメラ設定メニューが表示されます。

●カメラ設定メニューについて



- 12 CAMERA ID : カメラIDを設定します。カメラの設置場所などを英数記号、カタカナで表したものをカメラIDといい、モニター画面上に表示できます。設定方法はプリセットIDの設定と同じです。(⇒26～27ページ)
- 13 ALC/MANUAL : レンズの絞り方法を設定します。設定方法はプリセット設定と同じです。(⇒28ページ) ただし、MANUAL時の設定は、全設定メニューを消したあと、システムコントローラーのアイリススイッチで行います。
- 14 SHUTTER : 電子シャッターの速度を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。(⇒31ページ 手順3)
- 15 AGC : ゲインの調整方法を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。(⇒31ページ 手順4)
- 16 SENS UP : 電子感度アップを設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。(⇒32ページ 手順5)
- 17 SYNC : 同期方式を設定します。(⇒64ページ)
- 18 WHITE BAL : ホワイトバランスの調整方法を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。(⇒32ページ 手順6)
- 19 MOTION DET : モーションディテクター機能を設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。(⇒33ページ 手順7)
- 20 AF MODE : オートフォーカスの動作モードを設定します。設定方法はシーンファイルの設定と同じです。(⇒34ページ 手順8)
- 21 SPECIAL2 : カメラの画質を調整します。(⇒65～68ページ)

カメラ設定（つづき）

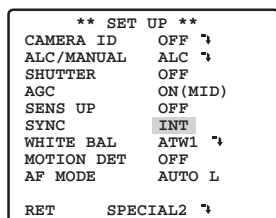
同期方式を設定する

本機は次に示す3種類の同期方式に対応しています。また、記載順序は同期方式の優先順位を表しています。

- ① 多重化垂直ドライブ（VD2）
- ② 内部同期（INT）
- ③ 電源同期（LL）

多重化垂直ドライブ（VD2）が入力された場合は、カメラがほかの同期方式に設定されていても、自動的にVD2同期に切り替わります。この場合、カメラ設定メニューには「EXT（VD2）」と表示され、内部同期（INT）および電源同期（LL）へは切り替えはできません。

ここでは、内部同期（INT）、電源同期（LL）の設定方法と、電源同期（LL）設定時の位相調整方法について説明します。



カメラ設定メニュー

1 カーソルを「SYNC」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、同期方式を切り替えます

INT：内部同期

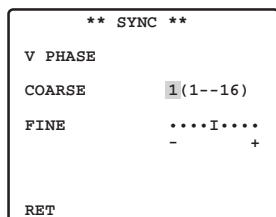
LL：電源同期（50 Hz地域では使用できません）

「LL」を選択してカメラ（セット）ボタンを押すと、位相調整メニューが表示され、詳細設定が行えます。（⇒下記）

●位相調整を行う（電源同期選択時）

調整するカメラの映像信号と、基準となるカメラの映像出力信号を二入力オシロスコープに接続してください。

オシロスコープは垂直レートにセットし、オシロスコープの垂直同期部を拡大してください。



位相調整メニュー

1 カーソルを「COARSE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、調整するカメラと基準カメラの垂直位相を粗調整します

粗調整は16段階（1～16）の調整ができます。16段階進むと最初の段階に戻ります。

2 カーソルを「FINE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、調整するカメラと基準カメラの垂直位相を微調整します

カメラの画質を調整する

カメラ特別メニューを表示してカメラの画質を調整します。

●カメラ特別メニューを表示する

```
  ** SET UP **
CAMERA ID  ON ↘
ALC/MANUAL ALC ↘
SHUTTER    OFF
AGC        ON (LOW)
SENS UP    OFF
SYNC       INT
WHITE BAL  ATW1 ↘
MOTION DET ON ↘
AF MODE    AUTO L
RET        SPECIAL2 ↘
```

カメラ設定メニュー

- 1 カーソルを「SPECIAL2 ↘」に合わせ、F3ボタンを押します
カメラ特別メニューが表示されます。

●画質の調整を行う

```
  ** SPECIAL2 **
CHROMA GAIN -.....I.....+
AP GAIN     -.....I.....+
PEDESTAL    -.....I.....+
HUE         -.....I.....+
RESOLUTION  NORMAL
DNR         LOW2
PIX OFF ↘
REFRESH     →PUSH SET
CAMERA RESET →PUSH SET
RET
```

カメラ特別メニュー

- 1 カーソルを「CHROMA GAIN」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、クロマレベル（色度）を調整します
ベクトル色度指示器かカラービデオモニターを見ながら調整してください。
- 2 カーソルを「AP GAIN」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、アパーチャレベルを調整します
－方向に動かすとソフトな画面に、＋方向に動かすとシャープな画面になります。
カラービデオモニターを見ながら調整してください。
- 3 カーソルを「PEDESTAL」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、ペDESTALレベルを調整します
－方向に動かすと暗い画面に、＋方向に動かすと明るい画面になります。

(⇒次ページへつづく)

カメラ設定（つづき）

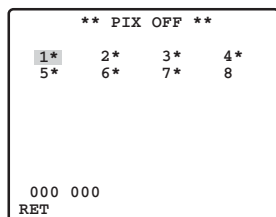
- 4** カーソルを「HUE」の項目に合わせてジョイスティックを左または右に動かし、クロマ位相（色調）レベルを調整します
ベクトル色度指示器かカラービデオモニターを見ながら調整してください。

- 5** カーソルを「RESOLUTION」の項目に合わせて、ジョイスティックを左または右に動かし、NORMAL / HIGHを切り替えます。
NORMAL：水平解像度を480TV本以上に設定します。
HIGH：水平解像度を510TV本以上に設定します。

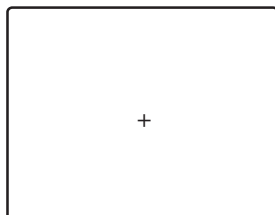
メモ

- HIGHに設定した場合、低照度で電子感度アップ機能が動作すると、ノイズが増える場合があります。
-

- 6** カーソルをDNRの設定項目に合せてジョイスティックを左または右に動かし、デジタル・ノイズ・リダクション（DNR）を設定します
LOW1：DNR効果小。残像あり。
LOW2：DNR効果小。残像なし。
HIGH1：DNR効果大。残像あり。
HIGH2：DNR効果大。残像なし。



PIX OFF メニュー



傷補正位置設定画面

- 7** カーソルを「PIX OFF」の項目に合わせて、カメラ（セット）ボタンを押すと、PIX OFFメニューが表示されます
以下の手順で傷のある位置を選択し、傷の補正を行います

- 7-1** 数字を選択し、カメラ（セット）ボタンを押すと、傷補正位置設定画面が表示されます
ジョイスティックを上下左右に動かすことにより、傷位置まで+カーソルを移動させます。
傷が目立たなくなる位置まで+カーソルを移動させたあと、カメラ（セット）ボタンを押すと、傷補正位置が設定されます。

PIX OFF メニューに戻ります

傷補正位置が設定されている場合、数字の右に「*」が表示されます。

- 7-2** 傷補正位置を消去したい場合は、該当する数字にカーソルを移動させ、カメラ（セット）ボタンを押します

傷補正位置設定画面が表示されますので、この画面でWV-CU650のF3ボタンを押します

PIX OFF メニューに戻ります

傷補正位置が消去され、数字右の「*」表示が消えます。

- 8** 使用中にポジションの位置がずれたときは、カーソルをREFRESH右側の「→PUSH SET」に合わせて、F3ボタンを押します

本機を使用中にポジション設定された位置からカメラがずれた場合、リフレッシュ機能を使用すると位置が補正されます。

(⇒次ページへつづく)

カメラ設定（つづき）

9

カメラの設定内容を初期値に戻すときは、カーソルをCAMERA RESET右側の「→ PUSH SET」に合わせ、F4ボタンを押します
設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

ただし、プリセットポジション、AUTO PAN、パトロール、RS485、傷補正位置、パ
スワードの設定内容は変更されません。

<メニュー操作について>

- カーソルがCAMERA RESET以外にある状態で上記操作を行うと、メニュー操作ができない場合があります。その場合は、22ページ「セットアップメニューの表示方法」に従い、再度メニューを開いてください。

メモ

- クロマレベル（手順1）、アパーチャレベル（手順2）、ペDESTALレベル（手順3）、クロマ位相レベル（手順4）の設定時に、各設定項目にカーソルを合わせた状態でF3ボタンを押すと、それぞれの設定値を初期値（工場出荷時の状態）に戻すことができます。
-

ショートカット操作について

「カメラ機能」ボタンのあるシステムコントローラーを使用すると、テンキーとカメラ機能ボタン操作で機能の設定をすることができます。(ショートカット操作)
本機で使用できるショートカット操作は次のとおりです。プリセットポジションの移動もプリセット番号をテンキー入力することにより行えますが、下表からは省略しています。

メモ

- プリセットポジションの移動とAUTO PANのON/OFFを設定するときは、デジタルフリップ機能を「OFF」にしてから行ってください。「FLIP ON トウロクキンシ」と表示されたら再度設定してください。
- レンズ、回転台の動作中は、ショートカット操作を実行できないことがあります。
- パトロール機能で記憶できるショートカット操作は、1～32、169、170のみです。
- パトロールPLAY中、動作を止めずに実行できるショートカット操作は、169、170のみです。

システムコントローラーの操作	設定内容	参照ページ
[6] + [5] + [カメラ機能]	AUTO PAN ON	40～42
[6] + [6] + [カメラ機能]	AUTO PAN OFF	
[6] + [7] + [カメラ機能]	AUTO PAN回転速度を1段階速くする	
[6] + [8] + [カメラ機能]	AUTO PAN回転速度を1段階遅くする	
[6] + [9] + [カメラ機能]	AUTO PANスタート位置設定	
[7] + [0] + [カメラ機能]	AUTO PANエンド位置設定	
[7] + [4] + [カメラ機能]	AUTO PAN範囲反転	
[7] + [1] + [カメラ機能]	オートモード (AUTO MODE) OFF	40
[7] + [2] + [カメラ機能]	オートモード (AUTO MODE) SEQ ON	
[7] + [3] + [カメラ機能]	オートモード (AUTO MODE) SORT ON	
[7] + [6] + [カメラ機能]	エンドレス旋回 (ENDLESS) ON	41
[7] + [7] + [カメラ機能]	エンドレス旋回 (ENDLESS) OFF	
[7] + [8] + [カメラ機能]	デジタルフリップ (DIGITAL FLIP) ON	44
[7] + [9] + [カメラ機能]	デジタルフリップ (DIGITAL FLIP) OFF	
[8] + [0] + [カメラ機能]	ズーム連動PAN/TILTスピード (PROPO.P/T) ON	50
[8] + [1] + [カメラ機能]	ズーム連動PAN/TILTスピード (PROPO.P/T) OFF	
[8] + [4] + [カメラ機能]	SUPER-D II ON	28,29
[8] + [5] + [カメラ機能]	SUPER-D II OFF	
[8] + [6] + [カメラ機能]	オートフォーカス (AF MODE) AUTO ON	34
[8] + [7] + [カメラ機能]	オートフォーカス (AF MODE) AUTO OFF	
[8] + [8] + [カメラ機能]	オートフォーカス起動	
[8] + [9] + [カメラ機能]	ホームポジションへ移動	38
[9] + [3] + [カメラ機能]	カメラID (CAMERA ID) ON	63
[9] + [4] + [カメラ機能]	カメラID (CAMERA ID) OFF	

ショートカット操作について（つづき）

システムコントローラーの操作	設定内容	参照ページ
[9] + [5] + [カメラ機能]	エリアタイトル (AREA TITLE) ON (NESW)	50
[9] + [6] + [カメラ機能]	エリアタイトル (AREA TITLE) ON (USER)	
[9] + [7] + [カメラ機能]	エリアタイトル (AREA TITLE) OFF	
[9] + [8] + [カメラ機能]	電子ズーム (EL-ZOOM) ON	58
[9] + [9] + [カメラ機能]	電子ズーム (EL-ZOOM) OFF	
[1] + [0] + [0] + [カメラ機能]	REFRESH (カメラ位置補正) 機能起動	67
[1] + [0] + [1] + [カメラ機能]	プリセット1の撮影場所を記憶する	24,25
[1] + [0] + [2] + [カメラ機能]	プリセット2の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [3] + [カメラ機能]	プリセット3の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [4] + [カメラ機能]	プリセット4の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [5] + [カメラ機能]	プリセット5の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [6] + [カメラ機能]	プリセット6の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [7] + [カメラ機能]	プリセット7の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [8] + [カメラ機能]	プリセット8の撮影場所を記憶する	
[1] + [0] + [9] + [カメラ機能]	プリセット9の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [0] + [カメラ機能]	プリセット10の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [1] + [カメラ機能]	プリセット11の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [2] + [カメラ機能]	プリセット12の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [3] + [カメラ機能]	プリセット13の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [4] + [カメラ機能]	プリセット14の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [5] + [カメラ機能]	プリセット15の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [6] + [カメラ機能]	プリセット16の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [7] + [カメラ機能]	プリセット17の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [8] + [カメラ機能]	プリセット18の撮影場所を記憶する	
[1] + [1] + [9] + [カメラ機能]	プリセット19の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [0] + [カメラ機能]	プリセット20の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [1] + [カメラ機能]	プリセット21の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [2] + [カメラ機能]	プリセット22の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [3] + [カメラ機能]	プリセット23の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [4] + [カメラ機能]	プリセット24の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [5] + [カメラ機能]	プリセット25の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [6] + [カメラ機能]	プリセット26の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [7] + [カメラ機能]	プリセット27の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [8] + [カメラ機能]	プリセット28の撮影場所を記憶する	
[1] + [2] + [9] + [カメラ機能]	プリセット29の撮影場所を記憶する	
[1] + [3] + [0] + [カメラ機能]	プリセット30の撮影場所を記憶する	
[1] + [3] + [1] + [カメラ機能]	プリセット31の撮影場所を記憶する	
[1] + [3] + [2] + [カメラ機能]	プリセット32の撮影場所を記憶する	

システムコントローラーの操作	設定内容	参照ページ
[1] + [6] + [5] + [カメラ機能]	パトロール (PATROL) PLAY	53,54,55
[1] + [6] + [6] + [カメラ機能]	パトロール (PATROL) STOP	
[1] + [6] + [7] + [カメラ機能]	パトロール (PATROL) LEARN開始	
[1] + [6] + [9] + [カメラ機能]	レンズの絞り (IRIS) OPEN	29
[1] + [7] + [0] + [カメラ機能]	レンズの絞り (IRIS) CLOSE	
[1] + [7] + [1] + [カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) ON	31
[1] + [7] + [2] + [カメラ機能]	電子シャッター (SHUTTER) OFF	
[1] + [7] + [3] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階速くする	
[1] + [7] + [4] + [カメラ機能]	電子シャッター速度を1段階遅くする	
[1] + [7] + [5] + [カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) ON	31
[1] + [7] + [6] + [カメラ機能]	ゲイン調整 (AGC) OFF	
[1] + [7] + [7] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX ON	32
[1] + [7] + [8] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) FIX OFF	
[1] + [7] + [9] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (FIX)	
[1] + [8] + [0] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (FIX)	
[1] + [8] + [1] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO ON	
[1] + [8] + [2] + [カメラ機能]	電子感度アップ (SENS UP) AUTO OFF	
[1] + [8] + [3] + [カメラ機能]	電子感度を1段階上げる (AUTO)	
[1] + [8] + [4] + [カメラ機能]	電子感度を1段階下げる (AUTO)	
[1] + [8] + [5] + [カメラ機能]	電源同期位相調整 (FINE) 1段階上げる	64
[1] + [8] + [6] + [カメラ機能]	電源同期位相調整 (FINE) 1段階下げる	
[1] + [8] + [7] + [カメラ機能]	180° ターン (PAN方向)	—
[1] + [8] + [8] + [カメラ機能]	クリーニング (CLEANING) ON	58
[1] + [8] + [9] + [カメラ機能]	クリーニング (CLEANING) OFF	

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
カメラ画像が出ない (暗い)	▶ ●カメラは正しく接続されていますか? ご使用のシステムコントローラーの取扱説明書をご確認ください。	—
	▶ ●レンズの絞り (IRIS) が閉じられていませんか? ご使用のシステムコントローラーから、アイリスリセットを実行してください。	28~29
	▶ ●固定シャッターが設定されていませんか?	31
画像が白っぽい	▶ ●レンズの絞り (IRIS) が開いていませんか?	28~29
	▶ ●電子感度アップ設定が固定 (FIX) 設定になっていませんか?	32
画像の焦点が合わない	▶ ●ドームカバー、レンズが汚れていませんか? ドームカバー/レンズの汚れを落としてください。	7
	▶ ●オートフォーカスの動作モードが、NORMAL設定になっていませんか?	34
	▶ ●オートフォーカスでピントが合いにくい被写体を写していませんか? 手動操作でピントを合わせてください。	34

必要なとき

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
画像にノイズが入る	▶ ●スリッピングの汚れが考えられます。クリーニング機能を使っていますか？	58
	▶ ●カメラは正しく設置されていますか？	10
画像の色が良くない	▶ ●ホワイトバランス設定をご確認ください。	32、35
	▶ ●カメラ特別メニューで画質の調整をおこなってください。	65~68
	▶ ●ドームカバー、レンズが汚れていませんか？ドームカバー／レンズの汚れを落としてください。	7
画面がちらつく	▶ ●ちらつきが気になる場合は、1/100のシャッターを設定してください。	31
	▶ ●SUPER-D II 機能を使用している場合は、OFFにしてください。	28~29
残像が出る	▶ ●DNR設定をご確認ください。	66
画面に白い点が出る	▶ ●PIX OFF機能を使用してください。	67
メニューが開けない	▶ ●カメラは正しく接続されていますか？ご使用のシステムコントローラーの取扱説明書をご確認ください。	—
	▶ ●カメラの通信設定が正しくおこなわれていますか？	20、21

故障かな!?(つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
メニューが変えられない	<ul style="list-style-type: none"> ●パスワードロック機能が設定されていませんか? 	45
パスワードを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ●お買上げの販売店にご連絡ください。 	—
パン・チルト・ズーム・フォーカスが動かない	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラは正しく接続されていますか?ご使用のシステムコントローラーの取扱説明書をご確認ください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●本機には、パンリミット機能があります。設定をご確認ください。 	42
	<ul style="list-style-type: none"> ●本機にはズームリミット機能があります。設定をご確認ください。 	42
カメラの動作モード (OFF, SEQ, SORT, AUTO PAN, PATROL) が止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●モータ、レンズの消耗が考えられます。お買上げの販売店にご連絡ください。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> ●セルフリターン機能をご確認ください。 	39
	<ul style="list-style-type: none"> ●アラーム入力設定端子の設定をご確認ください。 	56~57
<ul style="list-style-type: none"> ●モーションディテクター機能のアラーム復帰時間の設定をご確認ください。 	37	37

必要なとき

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
カメラの動作モード (OFF, SEQ, SORT, AUTO PAN, PATROL) が変化する	<ul style="list-style-type: none"> ● セルフリターン機能をご確認ください。 	39
ポジション設定した場所にカメラが向かない	<ul style="list-style-type: none"> ● カメラ特別メニューのREFRESH機能をおこなってください。 	67
ポジション設定した通りの画像になってない	<ul style="list-style-type: none"> ● プリセットメニュー、シーンファイルにて調整してください。 	24~25 30~37
カメラを水平に向けたとき画面の上側が黒くなる	<ul style="list-style-type: none"> ● 異常ではありません。(カメラ内部のカバーが映りこんでいるためです。) 	60
自動的にカメラが回りだす	<ul style="list-style-type: none"> ● クリーニング機能がONのときは異常ではありません。設定をご確認ください。 	58
	<ul style="list-style-type: none"> ● ノイズによる障害が考えられます。 	8、11

故障かな!?(つづき)

症 状

原 因 ・ 対 策

参照ページ

電源コード・電源プラグは、ときどき点検してください。

電源コードの被ふくが
傷んでいる

使用中、電源コード・
コネクター・電源プラ
グの一部が熱い

使用中、電源コードを
曲げたり伸ばしたりす
ると、暖かくなったり、
ぬるくなったりする

- 電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

仕様

●基本仕様

電源	AC100 V 50/60 Hz
撮像素子	1/4型インターライン転送方式CCD
有効画素数	768 (H) × 494 (V)
走査面積	3.59 mm (H) × 2.70 mm (V)
信号方式	NTSC方式
同期方式	内部同期、多重VD同期、電源同期
走査方式	2 : 1インターレース
走査周波数	水平 : 15.734 kHz、垂直 : 59.94 Hz
映像出力	VBS : 1.0 V [P-P] / 75 Ω (BNCプラグ)
解像度 (中心部にて)	水平 : 480TV本以上 (カラー NORMAL モード) 510TV本以上 (カラー HIGH モード) 垂直 : 350TV本以上
最低照度	1.0 lx (カラーモード) ※電子感度アップOFF AGC HIGH時
ダイナミックレンジ	46 dB (SUPER-DII : ON)
S/N	50 dB以上 (AGC : OFF)
使用温度範囲	-10 °C ~ +50 °C (推奨温度+35 °C以下)、湿度90 %以下 (結露しないこと)
寸法	直径120 mm 高さ191 mm ドーム径 110 mm
質量	約2 kg
仕上げ	本体 : アルミダイカスト メラミン焼付塗装 (塗装色 : ファインシルバー) ドーム部 : 透明アクリル樹脂

●回転台部

水平回転範囲	360° エンドレス旋回
水平回転動作	マニュアル、オート、マニュアルポジション、シーケンスポジション
水平回転速度※	マニュアル : 約0.1 °/s ~ 120 °/s 8段階/16段階/64段階 マニュアルポジション シーケンスポジション : 最大約300 °/s
垂直回転範囲	固定0° ~ 180° (水平~真下~水平) /TILT ANGLE5° 設定時-5° ~ 185°
垂直回転動作	マニュアル、マニュアルポジション、シーケンスポジション
垂直回転速度※	マニュアル : 約0.1 °/s ~ 120 °/s 8段階/16段階 /64段階マニュアルポジション シーケンスポジション : 最大約300 °/s

※回転速度は、使用するシステムコントローラーによって変わります。

仕様 (つづき)

●レンズ部

ズーム比	22倍 (電子ズーム使用時: 約220倍)
焦点距離	3.79 mm ~ 83.4 mm
最大口径比	1 : 1.6 (WIDE) ~ 3.0 (TELE)
至近距離	1.6 m
絞り範囲	F1.6 ~ 22、Close
画角	水平: 2.6° (TELE) ~ 51.7° (WIDE) 垂直: 2.0° (TELE) ~ 39.9° (WIDE)

●主な機能

システムコントローラーとのI/F	新監視システム同軸多重、RS485
制御機能	回転台、レンズ、32プリセットポジション回転動作、ホームポジション、パトロール
AGC	ON (LOW)/ON (MID)/ON (HIGH)/OFF
タイトル (ID)	ON/OFF (プリセットID、カメラID、エリアタイトル: 英数記号、カタカナ16文字)
ズーム動作速度	マニュアル時 約4.0 s (TELE~WIDE)
ズーム倍率制限	1~220倍 (ON 時)
パスワードロック機能	メニュー全体
フォーカス動作速度	マニュアル時 約6 s (FAR~NEAR、ズームTELE端にて)
オートフォーカス	NORMAL/STOP AF (PAN、TILT、ZOOM連動)
アイリス (IRIS)	ALC (OPEN/CLOSEの出力目標レベルを補正可能) /MANUAL
電子シャッター	OFF (1/60)、AUTO、1/100、1/250、1/500、1/1 000 1/2 000、1/4 000、1/10 000
電子感度アップ	最大32倍 (AUTOまたはFIX、出荷時はAUTO×2に設定)
オートモード	OFF/SEQ/SORT/AUTO PAN/PATROL
オートパンキー	SEQ/SORT/AUTO PAN/PATROL
デジタルフリップ	ON/OFF
SUPER-D II	ON/OFF
モーションディテクター	ON/OFF
アラーム入出力	4入力 (ALARM IN 1~4) 2出力 (ALARM/AUX1、AUX2)
プライバシーゾーン	ON/OFF (ゾーン設定8か所)
パトロール	STOP/PLAY/LEARN
クリーニング	ON/OFF
イメージホールド	ON/OFF

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このカラーテレビカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

72～76ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	カラーテレビカメラ
品番	WV-CS570
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

必要
な
と
き

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WV-CS570
	販売店名	電話 () -				

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410